治は青州淄河店間の戦

、大殿後の大正十年頃は民國人生を米國に吸収される傾きが本に戻して自由な爲めともすれば

する決勝戦を掘出せんと 「カートリカ上院のロンドン解析の要決を振出せんと

教育はから

※過点、四漢阿線道沿線における四 ・一年打切り貨物が四減。 瀬白南線 ・瀬田南線道沿線における四

れたのは六月上旬からで最近は一

本夏東京において開設さるよ各種本東東町管各党の受職者は小野は大名及思常教諭五名並に費

夏季講習派遣人選

ではし、 をはけの級和策を講ずること推奨 をはない。

黑龍江省主席

後任に張景惠氐説

館、配目、講師、麒麟養格は左の南浦政府のは来る万月一日と

條約成立に

不の形式を の形式を の形式

昭和五年度實行

一葉的約歳載は二

拓務省

を い に 減し

八二三六二三六二三六

海軍條約賛成派

調えた。 の酸に留めるか或は一歩進めるか を決定するもので、意見の認果は を決定するもので、意見の認果は

盟と聯絡協調を保たしむ ・ 右賽金運用に関しては銀行聯 ・ 低利賽金運用に終つ

る資金は預金部の職會通過前に衝薬

「本天神電十九日夏」 蔣介石氏の 居たが、郷良氏闘撃期日が定まら 能らに顕際良氏の闘撃を観音して が、郷良氏闘撃期日が定まら が、郷良氏闘撃期日が定まら

て来たワイの、いより

をといふ、いよく世智等くなつ が長地の背東恩絵は植民地で出

張學良氏を訪問

兩者の會見注目さる

は合といふべしの 一蛇一で十五旬ま

人人議案

上院で否決されん

洮昻四洮兩線

電送料 (一切を含む) は打通観が でと雪口までの聴覚は請録線が二 でと雪口までの聴覚は請録線が二 でと雪口までの聴覚は請録線が二

今さら放機もならず、緊緩方針で強むより外なく、補民地議入超

● 朝鮮總督府 (国内で) (国内) (

一八、〇四一一八、〇四一

や歌歌の影響を受けて相當の被欺! 電入超過を示してゐるが右は剩餘 電入超過を示してゐるが右は剩餘 で影響を示してゐるが右は剩餘

支收關收支收 東 麗 超

東で戦和より報告された五年度各 大多省 大・〇四一、〇七七 外務省 大・〇四一、〇七七

位論文などのほかに研究を織ける も相當に居た。その二端位は中國 がより特別補助(大學卒就後要 は相當に居た。その二端位は中國

東京十八日観電通』 政府は十八の農州開議において六千五十萬の農州開談を決定しこれを以ての農田開設を決定しこれを以ての農田開設を持続すべき六千年度において常然生ずべき六千年の農が右部数額を持続すべしたな

九日發電道」各隨民地特

内障は左の如

90

仙石總裁の閣僚招待會

對支債権は

権利主張が有利

切要求せざる を斷行

出すること
出すること

日より各官廳は暑中休暇に入るが「東京十八日殿電通」乗る二十一

滿洲醫大の管理

一、昭和四年度市税戶別烟試課 一、市税特別稅貸家稅免除の件 一、市税戶期間追加賦課額決定の件 一、市稅戶期間追加賦課額決定の件 一、昭和五年度市稅戶別問第一次 時時賦課額決定の件 一、市設山縣润市場倉庫增築の件

地方部移管問題を保留し

國防案懇談

條約問題協議

八日發電通」開談散會後

「東京十八日發電通」明年度業 「東京十八日發電通」明年度業 「大学」では、一個では、 「大学」では、 「大学、 「大学」では、 「大学」では、 「大学」では、 「大学」では、 「大学」では、 「大学」では、 「大学、 「 「 「 「 「 「 「 「 「 總額六百六萬圓

過五百卅七萬圓

関となる。 を対する。 特別會計の地大となるをはかれ一般會計の単大となるをはか かれ一般會計の地大となるをはか かれ一般會計の地大となるをはか がなるをはなる。 がはなる。

決議案 與黨政調會出

を開き産業統領につき協議の結果。 **粉鯛香糖館に附続するに決し四時** 左の成窓を得これを決議として政

する

南京特使張群氏

に随しឈ災試験を求める所あつた では十八日午前十時代更終記帖を では十八日午前十時代更終記帖を では、一八日午前十時代更終記帖を では、一八日午前十時代更終記帖を 依然總裁直屬で取扱

『奉手特等十八月号』 開催された醫大評談員会に出席を る森原等は十八月朝國率して語る 開館の修川醫大の地方部管理問 題が出され現職制としては容計 位前と何等雙のはない、故に總 ではない、故に總

で本業資なんかも月下建築中の を対して、それから提下建築中の をは更に選めて機事を計上する をは更に選めて機事を計上する をは更に選めて機事を計上する をは更に選めて機事を計上する が要あるまでに満場一致可決し が要数量を設置しそれによつて 更に該案を練り入月中旬開かれ る臨時評議員會において最後の 決定を見ることになつた、又新 を被別から提事員に割する とは更に該案を練り入月中旬開かれ を解析を提出したなった。 で審議した案は評価員會にても を審議した案は評価員會にても で審議した案は評価人といる員 をでまることとも思ってる。

「東京十八日発電通」第で一外上 登談院職員で河内正版で十七七 とでは、1000年で十八日発電通りで一次 日間とは、1000年で十八日内閣を経 では、1000年で十八日内閣を経 では、1000年で十八日内閣を経

▲香取柱一氏(大湖大連支局長)かねてより山東方面に出張中のところ十九日入港貴州丸にて騒適、公日大連丸にて来速、廿日はるびん丸で内地へ赴く豫定、びん丸で内地へ赴く豫定、

があります。一種を是非試みられよ 新かる人に對して同活は最も観客な効果

大河內議員辭任

ツト効く

◆八月七日より三日間、大連廟日 ・ 大人の一日に ・ 大人の一日間、大連廟日 ・ 大人の一日間、大連廟日 ・ 大人の一日間、大連廟日 ・ 大人の一日間、大連廟日

鐵道省異動

政府、民間の意見接近

『東京十八日語電道』本日の原本 にて左の如く人事を決定した 環済監察官 中山 隆音 任大阪機消局長(二等)、 大阪機消局長(二等)、 大阪機消局長(一等)、 大阪機消局長(一等)、

商工省異動

特許局審判部長 大嶽 健治 局商內課長 村井 四郎

市参事會議案

飲んた一

午前十時より市場本會を招集し左大連市では来る廿一日(月曜日)

限はり、交通じ聴き人、飲み過ぎ食ひ過ぎの人 使性質弱で簡色感され、**胸やけ、性態の指む人** 底腹重く、食道まね人、空腹の時に腹の揺む人

中尾藥學博士監理

帖佐醫學博士推獎

▲胃活は強力なる健胃整腐剤にして之を常用す ▲胃活は胃腸内を清淨にし、食然を進め、便通 を整へ、消化を住良にし、體重を増加します れば胃腸を根本的に趾健にします

の限り、それも不可能力とあつて不景氣の上に暴風雨、迷惑千萬

大趣小質

は仕方なし。

腸 ●全國とこの楽店にもあります

amapa; The Ikaisa

方針で悪態すとの登算編成、何とか彼と

I S 大阪市東區電久

山田安民藥房

本舗

日二見エテ ズンノ 井上獨逸博士ノ シマズ・イタマス トトキク

は一小兒用ロート目薬 定位 二十

ヴェルダンへ

が着るしく増加し観主連に非常 がのが着るしく増加し観主連に非常 がのが着るしく増加し観主連に非常 が近を來して知られてある外 で、歴史が近く來通、「概 のが着るし、「一個」で、「一個」で、「一個」で のが着るし、「一個」で、「」」で、「一個」で、「一個」で、「一個」で、「一個」で、「一個」で、「一個」で、「一個」で、「一個」で、「一個」で、「一個」で、「一個」」で、「一個」で、「」」で、「」」で、「

風雨降りつと

他を優勝し、風歌上面白くないと ある。なは今後は家部館の時

奧元帥薨去

突然吐血して

「ハルビン特電十九日表」十八日午後十時四十分哈爾賓設長春に向った要支第三朝諸名列川にコナト ・ は直ちに急援列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かつた第四號列車の第8は右 よりは直ちに急援列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かつた第四號列車の第8は右 よりは直ちに急援列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かつた第四號列車の第8は右 は2000年の第五列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かった第四號列車の第8は右 は2000年の第五列車から時類表通り電纜する豫定だと 邦人の乘客は無事

ル州全線の 修澹たる九州

運轉を休止 送電も中止して暗黒

大分縣の被害

藝酌婦の自廢運動に

倒壞家屋

各地の被害

花柳界は大恐慌

人布白落實女史の來連を控へ

當局と營業者惱む

小柄艦統社宅十戶鄉灣軍艦儲者十

通信機關は 尚证杜絕

したが死傷者は率ひにしてなかっ 十戸及び中尾線場は十一時代的流 一時代的流 孤立の長崎市

十分大阪測候所も繁報を辿した

特旨叙位の

夏の夜

風紀を紊す男女

大連署

て一齊檢學し

『夏京十九日臺灣通』東元献危館 たの特官線位の御沙汰があった 元勝陸軍大将正二位大園 位功一級

めらる) ・ 伯爵 奥 保 繁 は風把係を設け取締を設国に夏の夜を素す男女に戦し大き

支那金融界

攪亂を企つ

製の希*つ

同十八日翌電通】午前十一時 あり歌歌中

◇ いいので自然を建返すで呼ばばりの火の手が場られるのとしてあり、残に時代には最初のことであり、残に時代には最初のことであり、残に時代には最初のことであり、残に時代に

日間の興業院上を含ぜられた、理生きた瀧や鶏を食つたりして践歴・保に呼出され出意を受けたうへ」 あるものであるが多動職総の前で作職融洽(**)は十八日大連頻保安 ふので當局から興行の許可を受て作職融洽(**)は十八日大連頻保安 ふので當局から興行の許可を受て

猫や鶏は食ふべからず

蛇喰ひ男にお灸をすえる

國中等学校浩州予選會

歌心試練器を続けた総鬼新選選式 れて居たが一ケ月前より合稿なし れて居たが一ケ月前より合稿なし

を以て職く表質することを得た、 を以て職く表質することを得た、

た、今谷ナインに付いて掲げて見

したものは中央公園の小暗 娘もあつて風紀解壁の世相を物語中、觀酌婦等であるが中には人妻

一に 別し取付けにあって 居るなどと 観安のため疲弊しきつた小樹子方 流言を放つて

映畵班派遣

性有する質にして打撃亦良野 ・学としてその人を得たるもので ・学としてその人を得たるもので ・学としてその人を得たるもので ・学としてその人を得たるもので 食を魅すと とよなつた。協善日は網盤取の有 をと取職が退使の問題につき座校 選すること」なり、諸戦の運輸を 野野大選支部では卵圏では卵圏では卵圏では卵

大會開始さる

持つ 見せてるて打撃又頗る確実 特つ ▼山内二墨手▲

油壁は葉物である、成るべく勝負はない、然し新選手の多いだけにはない、然し新選手の多いだけに 小此木龍沿の三選手がゐる

何泥せす思ひ切り自由にのんび 来の羅天候に妨けられば飛行隊の九州だ道飛行演

等信は海底線に依り一先づ基底に 情話の不通に依る電視跳終をこれ 間話の不通に依る電視跳終をこれ 間話の不通に依る電視跳終をこれ り復舊には相當の時間を要するも 大颱風は

「東京十九日愛電海」昨夏來病床 で大きな、(吐血量が物を混じて約 で大きな、(吐血量が物を混じて約 で大きな、(吐血量が物を混じて約 がある。) 一昨夏來病床 明朝までに

朝鮮鐵道不通

「保護部へ月歳の大評判特闘! 「保護部へ月歳の大評判特闘!

被害健康等は詳細不明である電信不通となりたる爲め其の

「京城十九日愛電通」を來の暴風 「京城十九日愛電通」を來の暴風 「京城十九日愛電通」を來の暴風 限に依る 日補間被害電信級中東京 ると九州および山口縣方面大量員 ると九州および山口縣方面大量員

か戦信で通信を開始し無線もまた
大選線は十九日午前一時十五分よ

神込期日 七月三十二日迄 高級仕立、薄利多賣 第 半 二 日

格而財界の不況も愈々深刻になり は安の爲我々の營業用原料も値下 を表し日常の經費は何一つとした然し日常の經費は何一つとし の通り値下致しました何卒倍舊の の程伏して願上ます の程伏して願上ます の程伏して願上ます

濱

の公園に おなじみの 天帆 生漉塵紙 白帆為龍化粧紙

でさる方に限り 夏帝一本

す牛 き や

御野菜料理は一旦第三十錢限

拓茂洋行紙店

後も嚴重に取締を勵行

『東京十八日波電通』タコマ東京 間無離酸飛行評監中のプロム中間 に決し本日米國大便館を通じ滅信 省に日本領土内の飛行許可を出際 1、先方では一週間内に出 飛行決行 **人平洋福**斷

明は市ス山縣通三変商事館設計 実と同社のタイピスト東女であったが終来を職致して波達された事たが終来を職致して波達された事をもある、大連署では今後時々風

こになりたいか可用してい

輕快にして實用向

熊澤のルパ

直側的店街京極語 全球二二二〇五番

|生安心なる||求職募集 日本一面白い大雑誌!一勝値か五十億 お忘れな 「講談俱樂部」 には

ハナノヤ 屋本 電四九五九

ため小崎子方面では商人間においため小崎子面では商人間においため小崎子歌の郡査によって事實をが布する者があるので同署では日下極力肉値中である。 があり押り乗しく戦行 歌歌 される かあり押り乗しく戦行 歌歌 中南朝歌に見橋中であったため窓の睡宮は一所戦戦化され 要の は 一所戦戦が がたれる

のきなないないない

日満間の電報 廣發丸の 船長召喚

まだ遅延する





なくてならぬ

剧業以末初めての 七月十 五 B

主他の他選合も今回を以てすでに主他の他選合も今回を以てすでに も多くなり最加テームの力量もま 十周年を迎ふ、回を重ねる毎に敷

室清開球場に から焼たる(()) 野原を持ち返り全國五テームの急 た大道商家を居り山東の地に満州五テームの会 た大道商家を居り山東の地に満州

ームが脱子臓原頭の大食への動機 を獲得するのか、火蓋を切る日は

制選手で陣容を整へ 青島中學軍の水襲

部五郎觀劇會

河部五郎觀

讀者優待割引券

最新良品を總

ますからを高って御用命を希ふ

者優待割引券

血にまみれつ、呼んだが答へなか 概要は酸に無償を与けたものか

といひ十二分の貧酸もあつて如何にも其人にないきつてゐるが何にも其人にないきつてゐるが石原の清兵衛、中里の龍五郎等石原の清兵衛、中里の龍五郎等石原の清兵衛、中里の龍五郎等

放射の息は断へたo

田された時、酸蛭回陽丸は破撃を一髪によるタイトルを以て挨拶の変が、下く消えた砂煙の底に見一く一先づブロローグに於て感鑑の変が、下く消えた砂壁の底に見一く一先づブロローグに於て感鑑の変が、下く消えた砂壁の底に見一く一先づブロローグに於て感鑑の変が、下く消えた砂壁の底に見一く一光づブロローグに放て感識を一くない。

と 式 事 期 *

大人で打つがよろしい、黒州六はくろこに伸びれて打つがよろしい、黒州二は単に中の十二 〇三九ルの十二 〇三九ルの十二 ●三八字の十一 〇三九ルの十二 ●四八 一 三二大タの十一 〇三九ルの十二 ●三十 黒十二は単に中ので打つ方がよる。

開路

電話三

立滿日廣告部專用

情ち銀の 島部 匈

別府治林楽は胃腸降るが大連市監部通東郷町角 大神市聖整衛四丁目一二四大神市聖整衛四丁目一二四大神市聖整衛四丁目一二四大神市聖を衛四丁目一二四大神市聖を衛四丁目一二四大神市聖を衛四丁目一二四大神市聖を

東京式らぎり

おいしい

接替大連一九九四十

大連大山西東南

卷·七時三〇分

地獄谷の大剣客関海郎主演日野り一切の武士

竹川磯・宮城直接共演

小倒子土曜廣告

たの語感人そか

環能はら屋花環店

フム フマヌは開せず高 関するにスモカは 黒い 世景色い幽と 立派に 立派でない幽を 立派に

を朱に染めた灰鷺は流弾にし

光分展準を定めてのち、

せめては最後の側加騰を我に駿へ「日本第一大車神、諏訪明神よ、かく蔣へるは

観衆を唸らす

日の盛況

り倒れた欣彌を左近は抱

た近は種叫した。 た近は種叫した。

相樂の魔が心虚うづまくなか」

んでいまや黎明は來らんとしてゐ り敗まつた時、東方の念はの明る ないに狂つた羅聞も大熊に際ま

れてゐる(完)

して未明に機関を出いしたと云はでラングキーラを業せてフランスの場所の

新り死にして果てや

やめおもむろに後述してゆくでは

時は慶應三年十二月二十五日の頃が、冷くなつた左近は答へない

ないかの

河原

雄

(177)

に 「左近どの、いよくまちこがれ た黎明は來た。我等が一驚にとつ

やがては朗かな陽も照らうも

相樂は漢を双眼に進へて左近の

在つた様にその名を

間近に迫つた回陽丸の瞬間部へ

大連棋院臨時稽古碁戰

らば、値度飲んだで御座りませららば、値度飲んだで御座りませら な、敵を、敵をうつ手を休めてないます **以別は駅を音白ませつムグツタ** 曳棚ひけば、海面でかせてうなりかくて左近が満身の力をこめて

「や、左近殿、御手柄だ」 な、攻撃が止つたらしい 黒鷺天に冲すれば、そのまゝ暫時酸止とばかりうちあたつたと見え 「先生、回際は燃えて居りまする

途鑑に飛來した一弾、左近が配一山本の棚三はタイプ・「およ!」

といひ調子

面白い艶色生膽秘譚 背も前夜に増しての際況を豫想さの既において提灯をもつわけでな 舞楽に立って挨拶を

歌から「レンコン食つていやがるの ツチをでる音で忽ち現代圏へまた の ツチをでる音で忽ち現代圏へまた する河部五郎のミコ

後六時二 他日活俳優

四日間限日延なし四日間限日延なし

セ

小倉厚司

山本洋行 大連市信優町市場

谷路

を拍せし (大將震泊の卷)妖精先きに好評(存集)の姉フォックス社嫌笑籠 大將功名の卷 凸のテマド・マクナマラ氏が前 旭照子・大野三郎助演 **松枝つる子主演** 明石 縣郎主演

大連市浪速町丁目 一大連市浪速町丁目

上醫院

御相談に膨じますの 電話 六五 四四季

業所

鑛

マラソン狂躁曲 評判と賣行の **日本賣藥株式會社**

本秀夫)を切りつける腕を選ん。本秀夫)を切りつける腕を選ん。本秀夫)を切りつける腕を選ん。 で満場を突殺して大脳の上野五重 を結ぶと云ふ何れも百パーセント に繋三様は排除されてあた。大 の減出に観索を喜ばせてあた。大 の減出に観索を喜ばせてあた。大 の減出に観索を喜ばせてあた。大 分に大場をあけてゆくあたり流石でダークチェレズとなつてゐるが てるる、尚本社戦を原作に忠寛に 高速度舞楽整理の館かな所を見せ へ影無に飛んだ拾ひ物 製売を買ふので近所の概 を関いるので近所の概 本学に優になっておく をお手が来るので他の道 をお手が来るので他の道 をお手が来るので他の道 なアニー・一覧色生態があれて上陸の場で宇宙観子の がけふはるびん丸で上陸の場で宇宙観子の がけるはるがん丸で上陸の と言はぬ難りに大阪開船 無無に飛んだ拾ひ物が上を買ふので近所の施 ておくのだつた 上陸しました 楽しいに ()がや 節が出ると 間はど得な 念告!!

(可認物學馬第三素)

北盆の肥念勝関サービス

原多助

面國館

の既において提灯をもつわけでない既光照明も響でない巧いもの続て 主河州 H 午後七時

てゐる、尚本社戲を原作に忠

京 K

新大切十九日<u>封</u> 九日封

> 新興帝キネ四大作品の一 十四日よりお盆與行

付=造攺大內館

急告!!

十四日を切つて政然

これでもか! ・キキン火持の一番よ

大進出のため

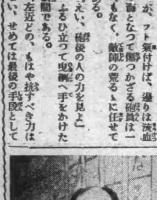
東百貨店、東西

光祭を感謝いたします・・・・・

子は強人と強わたつてゆくったまとい一言もなく肝を見し まるい一言もなぐ限を誤りそのが、放動は左近の腕に支へられ

よるひ立つて鬼神へ手をかけた どの、もはや旅すべき力は

んもなく、敵陣の売る」に任せて が、フト無付けば、過りは洗血が、フト無付けば、過りは洗血



















全商品

浪速町の一角流

本 機楽するのは難しいが、上海ではドルでは後ら領子兄で接

へ、播 舗 不整地して駐巾一尺七、八寸株 て整地して駐巾一尺七、八寸株 で整地して駐巾一尺七、八寸株 で変地とで駐巾一尺七、八寸株 で、五粒の種子を播下す反當所 変種子量一斗五升位なり日本内 地にては唯巾二尺、株間一尺五 大介なれど當地は生育期間短き は栽培粗放なる関係にて厚蒔を は栽培粗放なる関係にて厚蒔を は対・4のなり 橋種後降雨なき時は「ローラー」 を以て鎮膨す を以て鎮膨す を以て鎮膨す

普蘭店に於る落花生事情

播種の時期は五月上中旬

收量は反當り皮付、四五石

河相 郷を使ふやうになれば附 華屋が多くならなければならぬ 夢天邊りでは楽山酔客屋

山中、西山 然し観を使ふ事 河相 郷度の慶戦になるから金 森 を使ってはならぬとは云へない うっ

う。 ヤッて出來ぬ事はないでせ

本林 金に搬襲して搬ふ事は職は

*** 本社旅順支社主催銀で拂ふか換算して拂ふか

源田 一中の話は襲するに信用るが戦を屋が欲しいと云ふ事にな

倉敷料引下げが

最も必要だ

満鐵線並びに沿線の

繁榮策に關する輿論

の散気が入を以てするが貧めにの散気がある手具物に金代系の合計

特米の一種である。一種である。

ルー方鏡鈔の手数粉値下げ問題は 一根は現に役録の一般であるが減め に未だ組合に向って創設のが減め であるが減め であるが減め であるが減め であるが減め であるが減め

特産、錢鈔の 手數料問題考察 當然の歸趨と殊更の要求

性が乏しいとすれば之れに関連して其間に新しき何物かを釈出せれ

歐洲大豆情

好轉の見込薄

歌淵に於げる大豆機様は能さ 、 大月、九月晌十八志、十月物十六志 七代位で七月上年一萬九千五 市地位で七月上年一萬九千五 市地位で七月上年一萬九千五

とは悪く底人無味となって戻足に は悪く底人無味となって戻足に でたが郷郷中窓は前日一脚常限二 十一間先限二十七間近獲更に今朝 で大今朝の大阪総常は前日に地し待 原共三間五十總が至四種三十線の を記した

生糸綿糸反撥

★ 唯式**大連商業銀行** 大連市西通 大連市西通 電話





多少に拘らず



HE 矢島 日常生活のはめにឈ輸定 ・ 中地 市場の値段を緩離でせる。 東日郷の新聞代は緩の八十鐘で あるが支掘は毎日の相場でなし

中地・金融総合の出資金は観である、併し日本人からの預金は、まである、貸付の時は用途に強ってある。「資付の時は用途に強ってある。」 寒河江 試付は其の時の相場 日常に必要な支けの金額な

| 「別村 思惑なら少々な金では出 高となってあるため | 「東京十八日韓電通」米側の低溶 | 360全層的に多数の検配女工を出 高となってあるため | 「京村 思惑なら少々な金では出 高となってあるため | 「京村 | 「「京村 | 當局取締に手を焼く

大連輸出日本向

高粱包米激減す

ト、牧量 を分つ を分つ を分つ を分つ を分つ を発は、お他の良否肥料の施與量 をでは、お他の良否肥料の施與量 を得ば、七石乃至八石を得るは を得ば、七石乃至八石を得るは のののでは、ないで

新の高髪恒米の大連帯輸出日本向 き五十銭高となつて居る。 ・ 一型類の総と深深化するに伴び浦 日本向は浦鹽經由に比し百 更に浦港積割安に

加奈陀、南洋物の壓迫と

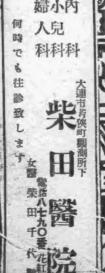
村料流で 今朝の海外材料としての倫敦線塊は十五片八分の七と八大分の一安) 住十五片八分の七と八大分の一安) 先物は十五片四分の三とハ十六分 の一安) 経育、孟賀兩斜境、日米 来日、米支、米英は何れ 4電線故 輝にて入電なし上海線金は六百五 南丁度と寄り五百九十七南二と止 め常市の銀復は保合額駅を呈した ぐ定期取引八常位録 今定期取引(単位盤) 客付高値安値大引期 近高線 最近 最近 最近 無数 最近 五十八萬團 一時 高岩 1120 1122 十一時 高岩 1120 1122 十二時 黒笠 1120 1122 十二日 11

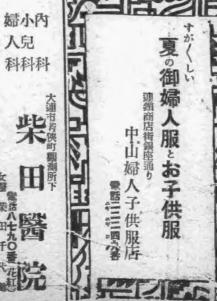
后 一日本向参普麗(銀青) 芸圃三 正 全文(銀勘定) 芸圃三 三田本向参普麗(銀青) 芸圃三 高替相場(千九日) 株式出来高(千九日) 株式出来高(千九日)

公司 關原

安心して召上られる 先づ健康! 一五二八電

人兒 診致し * 荣结





上海向多語愛《銀寶》、5三兩03

正 全、金勒定)

倫敦向電信愛(個)主志0片大分至

倫敦向電信愛(個)主志0片大分至

(有用付二月質(同)至の片人分至

(有用付二月質(同)至の片人分至

(有用有二月質(同)至の片人分至

(有用有二月質(同)三次0片人分至

(有用有二月質(同)三次0片人分至

(有用有二月質(同)三次0片人分至

(有用有二月質(同)三次0片人分至

(有用有二月質(同)三次0片人分之

(和一五月質(同)三次0片人分之

(和一五日構質(配)三次個三

(四十五日排質(同)

至祖言

(四十五日排質(同)

(四十五日排質(同)

(四十五日排質)(同)

要 交换(十九日)

七九八五八五八五

奥地市况(計九組)

性狀況前呂爾外所線式與文/ 理樣死前呂爾外所線式與文/ 悟(口座介前至)

會に就体みを名目として際歴 際に使れば無糸数は質面の観

大豆は果腐の無効は、大豆は野田の船積半常の現物質に大豆は野田の船積半常の現物質に大豆は邦田の各品も亦品薄に手が柄の銀安は手値の各品も亦品薄に手

况

大豆引合 製油原料條件 奥地も満足

歐洲から 大大学 (大学) は (大学

元品十銭高、東新四五十銭高と入 元品十銭高、東新四五十銭高と入 が現物五百四十枚 が現物五百四十枚 が現物五百四十枚 が現物五百四十枚 が現物五百四十枚 が現物五百四十枚 が現め五百四十枚 が現め五百四十枚 が現め五百四十枚 が現め五百四十枚 が現め五百四十枚 が現め五百四十枚 が現め五百四十枚 が現め五百四十枚 が現め五百四十枚 はる。東新四五十銭高と入

新東(宮)

1111

心主義を取ることが最善であらう

糸價の低落で

意を養し充分の満足を以て夫を

八日奥地の営業者に對して夫人で重備を下したるもの」如く、

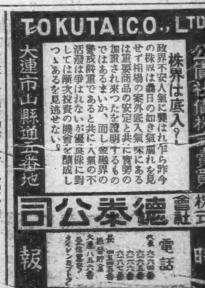
京油 七元五日籍 五百額 (前日對比较) 一二四四四平 一一車 被)

製糸業續々休業

盂蘭盆休みを機會に不意打ち

池田小見科門際院院

制制を TO KUTAICO., LTD





武器供給

十十日申二司 到着 北方政府職立の大立物汪翮無氏は 北方政府職立の大立物汪翮無氏は 北方政府職立の大立物汪翮無氏は 東京十九日穀電通 その筋減電 工日香港殺郵船加賀丸に乗船十日

廃れるので早くも各版の無しはか。 【北平特堂十九日發】北万政府が 閣馮を辿つて 獲官運動熾烈

部長、財部務相と励職の総果、窓答 く事となつた、而して非公式電事 居るが、當日討議の模様によ働館に職む智であった総谷口電合 り無相官地に第六大正照會議を開かずその優非公式電事器 の討議を行ふため廿日午前十時よ 宮殿下に東郷元館を加へ廿一番機は開かずその優非公式電事器 の討議を行ふため廿日午前十時よ 宮殿下に東郷元館を加へ廿一年の代見

新商埠租建章程

在留邦人の影響甚大

がて職職大来際に戦林

る鍋所問題で

を現つて動つたといふホンの版ーが、満別は先年日変通路會園がも、満別は先年日変通路會園があった時大道に二三泊して奉天あった時大道に二三泊して奉天

日露役當時の二元帥六大將

◆ で 元 に は に 可 他 は イ の 字 と を なり四十四年元 誠に 別 せ ら れ で 母 可 復を 新り 率 つ た け て 御 可 復を 新り 率 つ た は は 常 に 「 他 は イ の 字 と タ

を喚起し講州の適地に被

適市役所會議軍に全済大

の奥元帥

今や全く世を去る

が橋中佐の元はに歌する意味は 大のもので中佐の日配中には一余 大のもので中佐の日配中には一余 は奥閣下を以つて我國將取中の維 とあり、英雄は英雄を知る元献の

総は標明度では非常に痛慣し「こ あつて鳴ら騰蓋してゐたが今回の あつて鳴ら騰蓋してゐたが今回の

味で、これが今回の病気にも大分の器は醫者と甕が嫌いだといふ意

人格の全豹はこれだけを以つても

の南奪回を目標とし

央軍愈よ最後の

徐州に集結を了り北進を開始

信では経済侵略などAいつて血道をあげ騒いだものであつた。近週また支那の各地で文化侵略など頃また支那の各地で文化侵略などの合言薬を聞く。近頃、不息調なの合言薬を聞く。近頃、不息調な

國際感情を 害するもの

社

說

音鷹島等十萬の軍は光域を占領、電浦線線州に出でんとしつよあり、電浦線は今や決戦状態に入った了リ北上し始めた、西北軍は之に難し中央軍の退路を遮断のため十八日孫殿英、孫連中、一戰を濟南攻略に試みんと目下徐州には各戦線の軍隊、武器の終結「北平特置十九日發」南北南軍とも軍費金線乏し中央軍先づ戦ひの飛引くを関れた総称、最後の「北平特置十九日發」南北南軍とも軍費金線乏し中央軍先づ戦ひの飛引くを関れた総称、最後の 津浦線漸やく風雲急 つてある **プ外交財政の開部だけを臨時組織** 中央加擔か

西北軍も活動を開始

南軍の後方を衝くべく

政友新經濟國策 特別委員會の意見 燐 寸 瑞典燐寸驅逐のため

可申職中である。右事関制管施を置き徹底的に外層縛すの調逐を置き徹底的に外層縛すの調逐

南軍今明日中に

總攻擊命令

總司令部は徐州に

一、農工各部門の生産増進と金融では近年である。 とは離るべからざる関係あり特に中小最工者競展の問題については深き講究を要すてしては深き講究を要す として左の如き意見を述べたては深き講究を要す として左の如き意見を述べた 生糸の問題は現下の重大所題で もるその方法としては生産を増 あるその方法としては生産を増 あるその方法としては生産を増 して安く得るか成は生産を制限

、次巨頭會議

奉答文案及び手續等討論の為

満鐵理事を承諾

きのふ

仙石總裁と會見して

分行設置 中國國貨銀行

けふ海相官邸に開

(東京特徴十九日級) 滿線理事に 大阪(株) は十九日入京、直ちに鎌道者において佐(株) なっての総合を受け、次いで午後二・時滿線東京支社に到り いで午後二・時滿線東京支社に到り

奉答文に但し書 海相より諒解を求む

アスター 奏効適確にして 皮膚に吸收し易く 副作用なし

は今回洋服流行によって商費人の 大法を研究中だ▲東洋のシカゴと 方法を研究中だ▲東洋のシカゴと 方法を研究中だ▲東洋のシカゴと てある植機で廿四五日軍航艦 下殖・産課長の承職するまでとなっ 下殖・産課長の承職するまでとなっ 五分東京競西下し大阪に敷形、要 五分東京競西下し大阪に敷形、要 粉をかたづけ多分二十七日神戸出 粉をかたづけ多分二十七日神戸出 の定期船で赴任するはず、また **張鰡その傷の感称をかたづけ二十 阪維道局長は即を西下して事務の** 着任期 では、 を受けてある。 を受けてある。 を受けてある。 を受けてある。 を受けてある。 を受けてある。 を受けてある。 を受けてある。 品質日本 景品附 二立機器一本毎に 十六立間一間毎パ

少尉〉 は第二類司令官として至るところ ●・・・・元献は日禮職野には第五師熈 長として各地に蘇戦し日露戦争に 条工場が四個も閉鎖した故に問題は値段であらう。類かる場合 短しくなくよろしく大量生産を 以てその生産を増進しこれを版 以でその生産を増進しこれを版 はないかと思ふ を見ないで範去したことは恐らくだ」と渡してゐたが、それの解決 の新提案 ジョ

ン氏

「ワッシットン十八日要電通」上院 解別反踪歌の豆頭ペイラム、ジョ ンソン氏は今日は咳嗽流散をなし がしまする事に反

斯くて今後は夫々各部分艦の事項 につき調査を促進する事に申合せ

メリカば全部八吋巡洋艦を建

專賣制

鞍山視察 間知らせ下され度顕上候の御手敷ながら準備の都台も有 會世まで現金運搬中を狙つてズド し、大會社の給料日には観行から

で、TP中のやうな鎌甲車に武装しれたのが現金運搬用の装甲目前車れたのが現金運搬用の装甲目前車で、MPを対して大きながある。 前から銀行衛を輸職してゐる▲日た護衛が四、五人乗つて二、三日

约40发入···

工商数の四個階で対象の四個形式を表現のほど音材機工舎水機場においては実施を開催している。

郷所間節も去る十四日の首一相官邸における関係要路の 全満大會を開く 來る廿四日大連にて

が進められてゐるが現に取得の特部上場問題はその後實施古

十月中旬實

(E)

を で、我への住ひ織鎖は

状態である、市ではこの関係が

=

年

廣島文理科軍と

▲石章勘氏〈短秣廠長〉

十七日開

政學銘氏 十七日 計
関
大
幹
事
同
上

教専の陸上競技

今廿日午後二時から

愛知醫大生一行十四名 十七日

+

長

春

東京見本市観察團一行廿五名中將)十七日開原より職率柏桂林氏〈東北陸軍工兵訓練所

五

八月一日から家賃三館館下げを試験戸の貸家を所有し主として鮮人を計画の資家を所有し主として鮮人の

・ 一行することになった死八幡町八番 地更村氏も自己所有の覚家に鉱して地更村氏も自己所有の覚家に鉱し

東軍參謀長 十七日夜過

他に先

かい

奉

李原官邸に於

コ公使に重制する林牽 十八日十九時半から領 がいて領事圏を招特し

不意の解雇に

尚准優勝 職者對二

上回の勝者

筈であったが一日延期し十九日十牽天商騰の驚員會は十八日開催の

富士紡工

場

の勝者對二十四時から横友タ

四9

極勝職)

東

職

騒ぐ

五時から開

家賃二割引工

連日の降雨で板橋子附近の水田は連日の降雨で板橋子附近の水田は を蒙りはしないかと圏念されてある。 を蒙りはしないかと圏念されてある。

る害降防のは

奇特なる邦人家主

富局處置

可を了した、これがため一時注目

町の便 IJ

同日九時設列車で安東同長は廿三日八時中濟局長は廿三日八時中濟 闘撃の消

止司舍監談

本人は撃ろ引込みしあんで女な 本人は撃ろ引込みしあんで女な

日

につき十八日朝大連より闘率せる 概比で見て知つたばかりでその 質相を知る由もないが何にして も 国ったものだ震談君は十何年 も 国ったものだ震談君は十何年 も 国でかやらな問題を担すやうな 人間とは思はなかった、震談君 が置大動務の責任觀から辭表を 提出する中うなことがあつても を とは思はなかった、震談君 と が過れる明なないが何にして を と が過れる明なないが何にして を と の は の で の の の に の の に

いし相手が云つてゐるやうな事することも一寸も考へてはゐなれまでは離表を保留して置く故れまでは離表を保留して置く故れまでは神表の一方とうとうといいてどうとうない。 訪問し廿二日曜

間島文理科大學講教歌の陸上競技 は二十日午後二時から数事がラウ シドにて暴行されるが文理科大學 あれその復讐の意気物悪く数事 た新体符を設り出したとは云へ からざるものがあるので勝利は何 れた屋するか鄙りがたく當日職大 のたら花々しい接触が流じら

圓滿解決

のから五十銭、サイダー及びシトロンは二十銭から三十五銭とすることになり十八日奉天磐では組合(側のですることになり十八日奉天磐では組合(側ののでする)といった。これがため一時注目

午後四時より即友クラ 北斗クラブ、CD

そう信じ切つてるる程で道樂としては犬飼位のものである、相野が女中率公中手を出した位はあるか知らぬが紙上に競表される中うとはないと思ふで勝力になったのは返すくしも遺憾になったのは返すくしも遺憾にも、なったのは返すくしも遺憾に 段はその後警察署と組合側の安協となってるた附属地内協会店組合の依頼水(ビール、日飲食店組合の依頼水(ビール、日 なりピールは一本につき四十五鏡 飲物料金問題 八日安東より過率赴連

愈々けふ開始

グ戦

午後一時から憲兵隊球場で

劈頭PO對マイチー 天廿プ ▲廿三日 北斗クラブ對CDクラブ對級及クラブ

玉手箱は開けられた!

鐵

▲廿日 午後一時からPOクラブ 野マイテイA間、同午後四時よ り領際野波大クラブ

電景料値下開除も十七日料金運更 電景料値下開除も十七日料金運更 事となつた、同時に電器局からは 今回の値下げが最大関度たること 今回の値下げが最大関度たること

る新規特金は八月一日より管施す を競し間値下によ と等の

* V.1/1.

を制生 上からはどうか? 補別に於けるマラリアの本家として総は全く其情感から脱し、其他の傾は全く其情感から脱し、其他の傾

動地であらう 殿程鬼門と 居住地として のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のが力 といふのが力 として のもあらうけ のは、 のは、 のが力 といるのが力 といるのが力 といるのが力 といるのが力 にしてるるや にしてるるや

吾等。町語

各方面からの觀察の

將來發展の素地は充分有る

0

類するやし、 居住者相互の宿職で居一座 のか、又どうしたらその効膜

電燈と動力の料金値下 型数 選科金 改正科金 べく發表した新御料金の比較左の ササナ盟 登録ま数 上でで いより 大学 110 世一ヶ月) 110 世一ヶ月) 110 一九 110 一九 八月一日から實施

爾

賓

には職、佛其他各國の競爭が行は 南元の公債により無工することに 南元の公債により無工することに 大利。 水道敷設工事に

各國猛烈な競爭

總工費は二百萬元

は 節約 宣傳映畵 は 激化する傾向であると は 激化する傾向であると

窃盗警戒の

居住地としては最も好適の地で により邦人發展の跡を見ると概 して商工業方面には餘り惠まれ てるないやうである、元来織貸 であるが、過去二十餘年間の際史 により邦人發展の跡を見ると概 により邦人發展の跡を見ると概 であるいやうである、元来織貸 を備へてゐる管である、元来織貸 を備へてゐる管である、一次 を備へてゐる管である、一次 を備へてゐる管である、一次 を備へてゐる管である、一次 を備へてゐる管である、一次 を開からいつても、満洲における に一人の割であり、十年に一人 に一人の割であり、十年に一人

大事して事務所に押寄せ工場長に 一様、戦戦巡査等出張設論したため 一方、戦戦巡査等出張設論したため 一方、戦戦巡査等出張設論したため 一方、は、戦戦巡査等出張設論したため 一方、は、戦戦巡査等出張設論したため 解雇を不服とし十七日午前九時質 人の男女工であるが彼等は不意の 人の男女工であるが彼等は不意の 雷士級議會社会東工場は世界的銀 会々苦寒に殴ったので現在工場使 会々苦寒に殴ったので現在工場使 の勝者 開催の趣旨の説明し次いで取覧金物商級與策長春委員會は出席委員會は出席委員會 火となり十七日現在でば赤痢州入名、陽チブス七名、パフテブス四名、陽チブス七名、パフテブス四名、深紅點二名、ジフテリヤ二名と、深紅點二名、ジフテリヤ二名と、深紅點二名、ジファリヤニ名の患者であるが、一時 題者が三日に一名位の平城である遊した事があつたが、今では蚕生 長春に於ける傳染病は昨今 小人の福別を記して見ると次の如既報した通りだが、内地人の大人民務戦間内六月末現在の戸口數は 赤痢患者は五十餘名といふ多数に △長春 大人七千百七十四人、子し(十二歳以上を大人とす) 百二十人である で合計大人七千五百人小人一千八 現在患者州八名 委員會 長春署管内の 大人こ兒童 大人二十人、小人十九 大人二百三十五人。 具體案無し 名 多数に見送られが無よく出設したれ十八日十二時十分酸列車で父兄れ十八日十二時十分酸列車で父兄 称健見殿の夏家河子キャ 健兒團出發 飛行 で変、海士、八鳥葵の上、質盛 の変、海士、八鳥葵の上、質盛 い、朝長、龍太鉄、女郎花、七 数、朝長、龍太鉄、女郎花、七 数、朝長、龍太鉄、女郎花、七 が、忠世、郷丸、三井寺、天 鐵鳴會半歌仙會 映畵會 緊縮宣傳の 廿五日演藝館で

り流域館において活動寫真を無料。
一本のでは二十五日午後七時二十分よ
一本のでは二十五日午後七時二十分よ 會社支配人植田繁浩氏母党自午前九時頃職選監点に不明年後五時より郡祭場にお民争教會都した。 祭場において

開原特<u>産物商組合にては各方面の</u>すると

競技費捻出の 廿二日公會堂で 職職の 国人はは、 関係では、 の人はは、 では、 の人はは、 の人は、 の人は、 の人は、 の人は、 の人は、 の人は、 の人は、 の人は、 の人と、 のんと、 であつたと ル休場

□ 機関四公総株配上競技に出場の全 南清電無倉地等が振田多喜助氏は ・ は まり公舎堂で上映する事になった 出類係百田賦大氏は青年賦に金五 ・ は まり公舎
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は
・ は 田原水泳ブールにては拠水のため 二十日より一週 は休場すると 横田 満電事務 東部 開原電無管武銀線のため十八日午 部前十一時五十四分審特急列車にて

會 稻葉常任幹事 宗治氏、蔣嚴體育価秋型。營口水汰俱樂部数

整口動院院職員等に収容中の添削 並びに同稱加賀値二四女下校(20) 立れたるが目下続順と確定し收容。 う注意を要すと 銀中である 赤痢二名 蔓延の模様 さる」そうになった 芝刈軍司令官 けふ來營一泊 けふ來營一泊 一九日午後二時三十五分衆家潜秘 能に一部の上型二十日午前十時代 一世の上型二十日午前十時代 一世の上型二十日午前十時代 一大表者一行

一年代田街と 一年代田街と 一年代田街と

では、 ・ は、 ・ は、

長春特産商工けのみの振興策と誤り 「何等の具態経験決を見るに至らず 「何等の具態経験決を見るに至らず のより、 のまり、 のまり。 のまり。 のまり。 のまり。 のまり。 の

昌圖の馬賊

本 高樂繁茂期となり各地に肥販出湾。ラブ道場 の親親りであるが去る十五日夕晶 同地震民選職を人覧として拉芸し 同地震民選職を人覧として拉芸し 東に職村を艱難して人覧四名 心臓のため交通性絶せるところ五 と、更に職村を艱難して人質四名 心臓のため交通性絶せるところ五 と、更に職村を艱難して人質四名 心臓のため交通性絶せるところ五 とがましたるを急報に接し同地公安 ざる属機であると 後四時より一時間、場界は事業」 すまをしたるを急報に接し同地公安 ざる属機であると

特產商振興策 運賃輕減のみ 原

十七日の協議會で全員一致 男裝して足拔 練響部に伺ひをたてると▲レーニー製造とがを輝くかりたてた響部監督に伺ひをたてると▲レーニーの出く▲「これは吉林の山奥で浦の出く▲「これは吉林の山奥で浦の出く」と▲階ならロシャ

すが今では買手がない▲これもロットが今では買手がない▲これもロットの金のない時代相を動語るで旅跡にでも歌を仕込んで旅跡に出れば髪の下は乾あがらまないだらう」と▲孤聡は大洋の六十一ヶ年すれば立脈に生長し白鷺さ

般官民有志を招続すると 武道暑中稽古

| 一個道場で柔剣道髪中総古を行ふ | 三週間毎日午後四時から一時間稀 | 三週間毎日午後四時から一時間稀 P

水泳プー 廿三日華々しく擧行 ル開き

◇古城子採炭所◇

△庶務係主任山崎吉朋△乾爾係 主任安成貞雄△蒸館係主任(繁) 長谷川清治

△庶務主任人見雄三郎△計暨保主任南家碩文△採炭係主任型根元三△別松二△燥炭係主任岩根元三△別時、主任南家碩文△採炭係主任受村年田祐一館△電氣係主任型根元三△別 ◇大山採炭所◇ ◇火藥製造所◇

市省方面に於ける安全が除理保持たので影響上の便利はもとより新

炭礦部表彰並びに懲戒委員は十八 表彰懲戒委員 九氏を任命

保学(電頻課長)大棚綱三 (機械日次の和く競談された 潜水喜一の各氏任命された 探殺所長)佐藤廳次館 歐(經理課長)石織米一(古城子課長) 岡松縣(化學課長) 岡村金

◇東/和/林/次/所◇ ◇東/和/林/次/所◇ △庶務係主任佐藤苔雄△計畫係 主任(景)前島貫一△本坑々內係主任 主任栗屋東一△南坑々內係主任 主任栗屋東一△南坑々內係主任 主任栗屋東一△南京本門東係 主任東屋東一△南京本門東係

◇楊柏堡採炭所◇

最)馬場彰△探掘係主任桑谷 既務係主任青木剛△計職係主

顧々來征

多忙な野球界

△庶約主任梅本正倫△計費係主 一郎 ○老虎臺採炭所◇

回したるが既然は残る人質を連行したるが既然は残る人質に名を変 **土用稽古** 警察署の武道

像地なき総合理に十時半能合した の世界一後の映寫あり會屬立錐の の世界一後の映寫あり會屬立錐の

立にあばてゝ無にやむ雨戸かな

北寧線影響調查

大石橋

露領事館移轉

剣道戦山と

る智

小學校講堂で

本溪湖

般に開放 日本版 (大学) 1 日本 (大学) 1 日本

東部線豪雨

好については大した 菱刈軍司令官

国東東京司会に新州大將は大石橋守衛院が度巡戦のため左記日程に依 の飛行する管通知があった。倫営 日出迎への官民に繋りては職性変 室において午前十一時五分より同 では、後間では、一時五分より同 において午前十一時五分より同 において午前十一時五分より同

◆十九日十三時四十五分海城より来石、同十四時翌列車にて駐り来石、同十四時翌列車にて赴り来石、守備滕巡観し十六時二十三分元列車に ◇採 炭 課◇

△計畫係繼當員石田與鹹 ◇機及"被 課◆ △計畫係攤當員土井梅衣鄉。武 田勝利△監査係攤當員生井梅衣鄉。武 武田春二△製圖係主任江口入七 吉 本計畫係擔當員竹中叫三、向井 選吳係主任兒玉八郎本監查係擔 選吳係主任兒玉八郎本監查係擔 選吳係主任兒玉八郎本監查係擔 孫主任山口武吉本龍鳳堅坑計畫 係主任山口武吉本龍鳳堅坑計畫 ◇電 氣課◇

◇發電所◇

主任白石竹市ム製生(既報)本大官屯地水省三ム電燈係

場長等銀冶職場長和上方一職場長等銀冶職場長和工場◇ △機械工場◇

本文書係主任山田慶△人事係主任公東献二▲勞務係主任刊巴倉 市△統計係主任石山淳一△土地。 市全統計係主任石山淳一△土地。 中国市場所(中国市場)

△庶務係主任林祥一△計豐係主任(彙)中鳥蒙吉△坑內縣主任川村元弘△工作係主任招出八三次村元弘△工作係主任招出八三次村元弘△工作係主任光明本主任大嗣禮雄△捷沒係主任平調四十二△運轉係主任廣吉民雄△群

う全階競夷さ

主任山本駒太郎

蒋漢の戦闘大政革に依る紫顯部分 東地定決定につぎ注目されてるた な標主任は十八日附を以て次の如

新分掌規定に依る 炭坑各係主任 十八日決定發表さる

二十十千後一時より際口及び続山 原郷道部より選手各二十五名を迎 ・ 一、音地小學校翻常においてリーグ

豪雨被害

殆んど皆無

大道運輸事務所長市富平次附谷貨 中主性、株旅客主任の三氏は十入 日十四時三十五分來警敷日滞在の 上北寧鏡道常局の客貨物吸收策が 南海線に及ぼす影響其他を調査す 佐藤兵事係辭任

地に一多いになる資本に依り「終を ・ であっての職になる資本に依り「終を ・ であっての職に終いる政権の職に終ける職 ・ であたり、の職権の職に終ける職 ・ であたり、の職権の職権等が最も ・ であたり、の職権等が最も ・ であたり、の。 であたり、の

を順用し一七年イソング画院四十 は其首都を占領し、総ちその兵力 は其首都を占領し、総ちその兵力 は大百都を占領し、総ちその兵力 は大百都を占領し、総ちその兵力 は大百都を占領し、総ちその兵力

囘大歐

望戰洲

(16)....

全局的の統帥

固より現在の國力及動力が勢外 断に無力なるは後等の原に知識す 的に無力なるは後等の原に知識す

住―庭島角房氏の起稿にかゝ―

好意を謝す

兒童

~

推薦讀物

けい割かさが強って難んであるば

学は、ヒヒヒヒといふ物凄いで一部屋の中には依然として突ついます。 「のかを含んだやうな低い陰氣な笑」である。由見子は思はずぎよい。 一部屋の中には依然として突つ

に 『ヒヒヒピヒー』と人形の口から は又しても物質的な無無味な笑いなれる。

一職だ其處にゐるの

を腕に感じるのは無理はなかつ

つてゐる彼女は、一層その物群ひない。 それに今や全く狂魔し

教専調査會で發表

物調査商例會に於て左記六種が指

吾國古楽の夢

「無の迷ひかしらん」
「無の迷ひかしらん」
「無の迷ひかしらん」
それでも出身子は不安さらに慰
恋の順を離れた。一應部屋の隅々
を彼めて膝もあな、事を確めない
と、彼女の不安は去らないのだ。

その途職、突然ドサラといふ物 時由良子は思はず『キャラ』と吸 がったと潜れく、に離れて行った ではびのいた。と、そこに立つ

▲ | 幸福度小出正吾署(装幀中館人之友趾設行價九十五銭) | 之友趾設行價九十五銭) | 之友趾設行價九十五銭) | 大日本音噺、世界の室話、尺置の日常生活などから探つてある | 一年生の程度に合ふ面白味と特に高い世界への誘導に力めた動に高い世界への誘導に力めた動に高い世界への誘導に力めた動に高い世界への誘導に力めた動に高い世界への誘導に力めた動に高い世界への誘導に力めた動に高い世界への誘導に力めた動に高い世界への誘導に力めた動に高い世界への誘導に力めた動に高い世界である。無邪氣な清らかな子供の心の世界がそのます自然の姿に描かれてゐる、無邪氣な清らか

種「よろひむし」

の最後だよ 「さア、今度とみ、酸水お前さん

又しても無頻味などが部屋の中に出身子が短方を紙上げた瞬間、「ヒヒヒヒヒ!」

口變更

はいり下さい 吳服店隣から倒

戦術的清算

東方に激り、一五年電戦をその全 東方に激り、一五年電戦をその全 トに東部戦線の整理を終るや一六 ・ 工業に向ひその全土を飛掘し、こ ・ はいて塞 一十七萬の学課を得て其全軍を 一十七萬の学課をとり、海上に潜師を 一大名や野家とり、海上に潜師を 一大名や野家とり、海上に潜師を 一大名や野家とり、海上に潜師を 一大名や野家とり、海上に潜師を 一大名や野家兵艦の大部分を加へ 一下主で追ったが、かの歌が、一大年に 一大名の野がある。後等は此のの大部分を加へ 一下主で追ったが、かの歌が、一大年に 一般の行動に此ののの大部分を加へ 一般の行動に此ののの大部分を加へ 一般の行動にが、かの歌が、一大年に 一般の行動にが、かの歌が、一大年に 一般の行動にが、かの歌が、一大年に 一般の行動にが、かの歌が、一大年に 一般の行動にで若しての東方の歌が、一般で 一般のであった。 一般の行動に、他のの大部分を加へ 一般の行動に、他ののであった。 一般の行動に、他のの歌が、一人年に 一般の一般であった。 一般のであった。 一般の行動に、他ののであった。 一般のであった。 一般の行動に、他のの歌が、一人年に 一般のであった。 一般の行動に、他のの東方に強した。 一般のであった。 一般では、 一体に、 一体に 一

いいでは 皇后は皇帝を相称し、大公連は取 職を制討し、建戦省は司令部を妨 職を制討し、建戦省は司令部を妨 は取るのでは、大公連は取 は、大公連は取 して選兵はカルバト

0

たるに甘んずるものにあらざるは 等の民族(6)自獣は終始赤譚の懐優 と は却つて赤露野力を以て

▲日本國史物語(1)京

▲ 改正民事訴訟法解釋

「長島霞、森田豐大郷共著)永年の豐繁であった改正民事訴訟法解釋

「長島霞、森田豐大郷共著)永年の豐繁であった改正民事訴訟法は公布された、そしてこの改正法の新解釋に一番館をつけたのが即ち本者である。全篇をのが即ち本者である。全篇を「序論」第一編「編別執行」に分ちて群解進代法は「民事訴訟援中改正法律」「民事訴訟援中改正法律」の三法を最後に設明してある。長島氏は司法智記官として何れも新法制定に関係した人であるだけに充分に保證の出來

たるに甘んずるものにあらざるは 教等の特性之を避して紛りあり、 哲人が素化を嫌脱するの心を以て 哲人が素化を嫌脱するの心を以て 一般民業の本病人に避するの心を以て一般民業の本病人に避する。此所な 至 一般民業の本病人に避する。此所な 至 一般民業の本病人に避する。此所な 一般民業の本病人に避する。此所な 三 一般民業の本病人に避する。此所な 一般民業の本病人に避する。

大きの電波なからで、するの電域を進むるほかの理解を進むるほかの細胞の如きは難し相互をあるべしと聴きがくとも彼の赤電が外震と否則とは何等直接の和書間を出して後赤電がの関に於て後赤電がの関に於て後赤電が

▲フアブル昆虫、物語ファブルの角虫についての思遠を物語風であるが、ファブルの外側路虫肥中より六種の路虫によく書かれてある。ファブル科學知識暖者、ストスル科学知識を集まによいものであるが語風を推開に價する、四、五、六

※ひだつたのだ。彼女はそれでも かうした最後の瞬間に於て、假令 かの迷ひにしろ、物に青えた自分 が急に不甲斐なく思はれて來た。 迷ひだつたのだ。彼女はそれでも をの中にはゐない。中つばり無の はの中にはゐない。中つばり無の ないんですか」
は見子はまるで無扱けしたや 見つめてるた。 「お鍵さん、どうし うしてあなたはその極性をほ

げかけた。それには速の蛭田紋等にないに由臭子の唇から口情した焼 たら壁へかけて、ぐさりと な女の一人や二人とたかをく ぐさりと突っなかった。左の

店賣販約特素生長

ですましたが。然所の縦手に思ふやうに離けない。その隙に由 思ふやうに離けない。その隙に由 思ふやうに離けない。その隙に由 としてずつた。

盲腸炎の内服藥

切らずに治療の効績をあぐ

本族を、氏服によって安全に治 し、治療界に光明を放つもの はこの盲腸湯です、疑惑して にはこの盲腸湯です。疑惑して

總發賣元

を失ひ、慢性の盲腸炎に苦しむを失ひ、慢性の盲腸炎に苦しむを失び、慢性の盲腸炎に苦しむの不管に与治のたやうで、少しの不管に対したや、運動の過ぎたたでに再強の不安ある人は、即時に再強を服用して根本の病難を

日下<u>歯科</u>

天分を有する膜翅類は父親の旁 工業的な昆虫のうちで最もその 工業的な昆虫のうちで最もその 大人のである。 か、蛭田樹事その人ではないか。

胃アトニー

カタル

れたる肉血は強へ聚薬は程なくれたる肉血は強へ緊薬は程なく

藥秘法秘朝清 劑壯强養滋

|不自然なる對症的の一時押へは廢せよを丈夫にする皇漢薬『タラコン』の特殊作用三消化酵素の分泌を旺盛ならしめ病國貿陽 蛋白を消化する酵素

朝服んで晩の氣分

性された。 はの分によって患寒料呼應して瞬原を一緒する長生素を試みられよ。 はの分によって患寒料呼應して瞬原を一緒する長生素を試みられよ。 はの分によって患寒料呼應して瞬原を一緒する長生素を試みられよ。 はの分によって患寒料呼應して瞬原を一緒する長生素を試みられよ。

です。それは誰が見ても物説いものに動きった。 薄あかりの中に、ほんのりを浮んである蒼白い人形の館――と浮んである蒼白い人形の館―― 畵

(四)

0

(完)

は内のこと は内のこと

高い

家主さん方へ

生

積便町の 下水

種類最さんでさへ五割引の大書 をするそうです、家主さんもち と考へては如何ですか、住宅排底 だから暫く我慢してゐるのだが、 今に御電後日臍を強むの時が來る でせり、鵬買組合の田來ぬ者には 小商人がテラリーマンを慮めたそ うですが、前車の覆轍を踏まぬや うですが、前車の覆轍を踏まぬや

を興識して止まざるのみならず、 を要認して止まざるのみならず、 を要認して止まざるのみならず、 りきざるを確信し少くも予自ら益々 を要認して定さるのみならず、 を要認して止まざるのみならず、 と云ふ、音人は外際に對する期人の を要認して止まざるのみならず、 と言るを確信し少くも予自ら益々

で 生富局の措置に對して非難の摩が 生富局の措置に對して非難の摩が 生富局の措置に對して非難の摩が 生富局の措置に對して非難の摩が 生富局の措置に對して非難の摩が

柳町HK生へ 保へ一幅倒照管になっては如何か と思ひます、管方では一寸判明した と思ひます、管方では一寸判明した

花子――その上にデリくと由身をれで花子の競がは下つてくる。今一張りそれで花子の命は天外にとんで了

の時である。

製薬の上に続りつけられた智

棘(土

4. 伊藤幾久造

正史 亂步

(146)

事

肩の 3 リウマチス

動にはゼヒ『妙布』の一切を作用意下さい を設定に管標や出かけになります その旅行。 の一切を作用意下さい である。 の健康と幸福のため 避暑地へお出かけの際なる感じた時 即席の学習として 常に気象 なを感じた時 即席の学習として 常に気象 なを感じた時 即席の学習として 常に気象 なを感じた時 即席の学習として 常に気象 は周到な用意として、ゼヒ『妙布』の一句を 旅行鞄にお忘れなく

をお忘れなく 妙布の御用意 コリを和

胸咽喉の痛 筋肉の

過いののない。

一四 新の際店

靈山堂

便定 五十錢 東京市麻布區霞町廿一番地

の伯母様の観ぎ先である山内の の伯母様の観ぎ先である山内の が 高り続やかな家庭であるが、 雷地 の伯母様の観ぎ先であるが、 雷地

五月さんが女壁枝に入壁してから智の始めた翠が日が遅いにもら智の始めた翠が日が遅いにもったった。出来諸田な手先を持つの後壁論には

ますので難しましたが、一時はお ますので難しましたが、一時はお 物理、掃除から一切この人にさし であましたもの」それでは繰り可 であましたもの」それでは繰り可 であましたもの」とれては繰り可

他で様件は様の日本趣味に感化さる。女の生命は裁糊だと他母様の日本物の方がお好きだとある。女の生命は裁糊だと他母様のおりません。今は終日お裁議のおりません。

「前には女中を置いて居ましたが この人に墨所のことをさせるやう

母さまの話。

と申すんでございますよ」と信と申すんでございますが主人が又画家でし

底筋なお歌さんである。 底筋なお歌さんである。

家事へ とお熟鑑は好きで

「お罪など一番好きなものです

の世には彩しい純日本婦人の特長木五月さんは現代のモダンばやり

本春 無生高女卒業の青

伯父様、伯母様と三人暮しである氏一家に子が無いので見収られて

閑雅なお嬢さん

趣味も琴やお裁縫

青木五月さん

日本式に育てられた

電地の御宅に訪ねてみる。

趣味の今嬢は訪

9

ね

完

にもすなほなお綴さんである。

化粧に身装ひもきちんとした即何

格な家庭である。

信御線が出て来られて 「御琴と申しましてもほんの値型 ません」と吃彩の窓である。 奥の ません」と吃彩の窓である。 奥の

て家中で敷取約者を十分たいて、 ではキャムアの味がない、そこで 経壁は眠る前に天幕のタレを下し な壁は眠る前に天幕のタレを下し

個人は聞き返した。其の時に

「ナアニ奉天からですから」 「長い汽車の旅でさぞお疲れで」

「失聴ですがあなたは僕の奥さんではありませんか」

の願りに最布して族ぐ事にしてる を乾燥させる事からしても時々 でを乾燥させる事からしても時々

大連第二中
聴校には今年の五月類地 からBC 俱樂部といふのが出来て 地 からBC 俱樂部といふのが出来て 地 が のる。これは即は5BARB BR

理化と理髪クラブ」の小黒板をぶれを離へ、入口に「歴生生活の合成を解へ、入口に「歴生生活の合

れた『寫眞はBC俱樂部で理髪を

やつてゐるところ』

の類は今津郷取粉を床

例の検土が例の如く云つて

ではないかと思った、錯覚にしても残にしてもトン吉は盛しかってはないかと思った、錯覚にしても残にしてもトン吉は盛しかってござります」とあっさり言つたのでトン吉は配食らつた、錯覚でござります」とあっさり言つたのでトン吉は配食らつた、錯覚

その婦人は慥にトン吉の細君ではなかった。それが「はい左機

めた事ではない。

づ十分眠らせるには、

生徒の理髪屋さんが

チョッキ

大連二中のBC俱樂部

日

て勢明な近代的スピード求婚法に思へた。

飲食せの事などを事げたいの飲食がいま、通風が適當なる事、は風が適當なる事、

多いが之は左して心部はない。蚊の

僕の奥さんや

汝 胡

E

文

甘いものを

徹夜する學生は

「あのサイレンは何時作りまし

「それがいけないのです、

しては御先祖に申し譯がない。さまひました。何しろこの木を枯ら

さんにはサイレンを取りはづす事 のもをしい事だっしかし結局市長りとて紆角作ったサイレンを取る

新電話に こうべた三 大連案内社 新電話 こ三十週あれば架設で 話さる月賦資多数有り西 おれば架設で

小兒

市長さんはぢつと考へ込んでしが穏かけたのです」

印書 印書順

白帆高級お化粧紙は

印書開発タイ

此印に限る

名刺

野

郎

樹

(四)

り局は害闘を喰べます、鳥がをらて逃げ出したのです。御承知の通

中古他四公

公園のオー四

様な手虫が一杯木についたので木なくなると守あなたの際に落ちた

話

「今年の六月です。

わしの競談で

するため八名の學生を び疲勞と食物の關係 では不眠性及

させ、一定の食物一定の運動を興選が三週間に直つて同じ家に住居 士の談によると始めの土曜日には歐したが、實驗主任レイアード陣 學生は大した困難もなく徹夜を行 版を命じて疲勞財馬を詳細に實 ををあかし、翌日の正午少し前に 一ででは、野生は臓々チョコ との徹夜では、野生は臓々チョコ との徹夜では、野生は臓々チョコ との他では、野生は臓々チョコ とので、翌日 かを興へられてめたもので、翌日 かを埋ぐられてめたもので、翌日 注意力の集中歴度は前回の實驗のはこの夜も勉強を課せられたが、 にも厳夜したが、この徹夜には頼かった。原生等は次の週の土曜日かった。原生等は次の週の土曜日

お食べなさ 砂糖は疲勞を恢復する

ながら答へました。

なくなって来るのできよとんとし

をらないので静かになって喜んで るます」市長さんはますく分ら

福手も再びやとはれる機になりま よくなりました。又一方哀れな老 よくなりました。又一方哀れな老

古本 密度勉強して頂きます 関度勉強して頂きます 大暴騰は不正直屋の欺滿 大暴騰は不正直屋の欺滿 にて頂きます

タイプ

した(終り)

くいつて、

りけて

かけ出せば

ました、近第一羽も

したらうし

を実に出来且つ渡野の検疫も単かった。之等の實験があら見てものだる。 をも樂に出来且つ渡野の検疫も単かった。之等の實験があら見てものだる。 疲労の度が甚だしかった。前回のは前の質験の時より更に二階五分 糖分を含有 した食物が… がそれまではこの木に島がをりま

キャンプの仕方 と良いと説いてゐる勞働能率研究 常有した食物を間食として與へる がある時間をといて與へる 家もある。

ヤン 大連少年團主事 阿左見福馬 プと健康

丰

その間敷時間の勉強を命ぜら

時の如く行かず

翌日の日曜 日正午近

西洋將棋な

に至って膀胱を與へ起床した時に

ぐつすり眠れ

終ってから二、三日睡り続けると を整けがよくないと様々に関らぬ様、十 か眠らせる事である、慮が餘極心 をで翌日の活動を妨げ、或は勝然を で翌日の活動を妨げ、或は勝然を 云ふ様な事をやる。之は決して質終ってから二、三日睡り儲けると

題がよぶのらんかと 波止場はとばから おとりるいなり神心の ふねが呼ぶ

が之は睡髪の物度や髪の段否にも よる事で一概には言へない。最後 解験の有無は、翌日の講評の材料 慎まねばならない事だ。就態後の があるが之は 傾まねばならない事だの対象 就床後離離にやる事である。親み 話童 沼田冬子 長いはし

で映町四〇番地 男田一大学より二 日景町つほな電話二八一 日景町のは八十五番以上 19時間記録支給

深いらみ ふかい海 下みりや、ぎんぎら

ぼう、ぼう、ばうと ふねが呼ぶ

たがいサンパシ

若突町 一し信

吉田電五〇一三

寫眞

寫圖

三番地の五、水島電ニー六七八四紀の対する大連市漫路町の五、水島電ニー六七八四紀の

牛乳 バタークリー

東京話出五三七番

まだとほい 求店 北側電四三〇八英ララ 邦文 タイピスト短期選成

からくころと はしの上

さんは同校生徒の

二十六名の有志、デョクキン、チ中で自ら進んで奉仕しやうといふ

きは中々らまいものだ、消毒器も

前付り別係先確實なる

大獲身重人の 水

壽司

新一駅神を縫つたので昨日の午後 第一駅神を縫つたので昨日の午後 栗?時間は**豊食後の休憩時間と放**めれば、洗明用の水槽もある。 監 敬されるまでに至らないが しろ料金が安いので中々資金が回回の理髪料金は簡別り共十銭。何 は試験期になると休業をする。一 既後四時半まで、此の理髪屋さん あがるやうになつ | 大黒町一一六 宮 坂 大黒町一一六 宮 坂

楽はヒシカワ襲局

純益が

家博 お灸 郷ハリ灸専門療院

はいつも続りよくなかのた様で さうである「単校で情操のお脳 さうである「単校で情操のお脳 である「単校で情操のお脳 五月△ さんの手先は常人 なかく戦

電話八八〇三番

クサ 御場隣根本館局電七八六二 効準有ます 療治御望みの方は

チチ 持田順天堂 電話三二〇九番 大連市浪速町 京木丈太郎 電話四大ル二番 大連二葉町六〇 電話四六九二番

賃衣 祭 婚帳用 さかひや電匠四三七 佐婦乳兒の 御預りの御用蕨に欄じます 紫婆 浅 野 静 子 大連市美濃町五七番地 紫藤三一八六六巻 通勤家政婦 (家本一切) 一日一圓 (家本一切) 一日一圓

無水鍼炎治療所動せへ五〇 藤田町十一向陽門停留大タタ前 原水やむ方は適來宅下さい 原本やむ方は適來宅下さい 門洋脈類舊發 大連市高野町ニュ 野中醫院

新家等所 豊田式防火装置 豊田式防火装置 濟生醫院 性 **沙尿生殖器病** 大連三河町二 病(排

東比須町一番地電車停留場前 東北須町一番地電車停留場前

電話三〇四九番

質特許◆東京理學療院◆創製 ・上下肢痛痺、膊氣、中風症、臓節 ・場際、乳はれ、乳ふそく ・機際、乳はれ、乳ふそく ・機態、乳はれ、乳ふそく

日本派和大学では一般加工品大阪市西温阿波座上通三丁目大阪市西温阿波座上通三丁目大阪市西温阿波座上通三丁目大阪市西温阿波座上通三丁目 五九八番へ 取扱

生花 花環 菜 像 型 地 图

吉野町電話四六二七番型力響が対象の場合に限るするのでである。

刀劍

鬼話六〇四五 阪 大郷町二丁目八五 阪 大郷造販賣並に修繕 阪本

康木

の御用命は 大連一の老舗 電三九五 強大マ ツサージ院 小寺藥局 電話六六〇六倍

大連伯馬町西広場上ル

古野町六 名古屋館電六三一一 第一層便利但價格は勉强 第一層便利但價格は勉强 姓名 在 社 米國體入著言器修理早達大連常盤層筋西通角 ヮ精工含

プライタ1 智祉 電話八四七一番 では八四七一番 ホネッギ 門專



ヴイタミンBの世界的始祖

るに極めて適切なるを知らる

粉末、錠剤、液劑、越般斯劑、注射液の各種あり 類似品多数ありオリザニンご指定を要す (實驗報告集進星)



mindred 可包含

も綺麗さいふ方も少くない。 だがそれはあながち六かし だがそれはあながち六かし

それは何によるか?化粧用

述の「白粉三乳兒の魘験炎」 ・ さいふ小奶子から書扱いてみ

よいもの。

誰もが望む所のも 偖てまだ思ふやう

含鉛白粉

中毒は夏に

着色してある

玩具にも用心

指ヌケして綺麗なのは誠に自物氣なしの素顔がすつき

有名なもの

のですが、

自制を落した時の素顔を見る

直ぐに分る

既に政府の國産愛用の獎品



國産品がます

舶來品 のり かはる婦人 か ら國産品

に呼應して、その徹底普及ご の他の有志の發起で設立され 實現をはかるための國民的機 ようごしてをり、またこの六 國民協 固產品愛用 會 議士そ

の産業合理局でも、國産愛用 月一日から資施された商工省 家が達してゐる 前には婦人方も覺醒せずには うになつたのです。 ごし | 関産品を受用するや るませんでした。果然化粧品 來ました。舶來品でなければ ・・三従來思つてるた人々がい も関産品が益々優勢を加へて 日本の進歩した化粧品製造

る等、斯ういふ時代の、勢の 戦闘事業をも、掌るここにな 科學的水準は 今では既に

をれより低いものではありません。こりわけ白色美顔水や美顔白粉や美顔水なごで知られてゐる「美顔」の發質元、れてゐる「美顔」の發質元、れてゐる「美顔」の發質元、化粧品研究所の如きは最も植化粧品研究所の如きは最も植 るますの 立つ化粧品が、本來の品質に 斯うした科學的研究の上に

をよくし、肌理を細かにし、 皮膚の生氣を増し、垢スケし て美しくなる有名な科學的優 優勢を促して来たので

洞河

綺麗にする

母体の皮膚 吸收 されて 乳の中 へ出て

む際になめて子供の体内に這粉が乳房につき、凡着についた白肌着につき、凡着についた白 が含鉛の自粉であれば)ここが多い。こんな場合は(それ 日本の婦人は多く頭から胸の 上半部にかけて 暑い時分には汗に流されて い事でもありません。 い事でもありません。 しい事でもありません。 にきび

2

くさく

三十年來の定説

流の製 造家の 八方が多い 於て舶來品に護る所のない事 は勿論で、殊に歐米の人々を は勿論で、殊に歐米の人々を はる。

森なものであることは解つた物は学見には非常に恋しい有

にぶつて

了解されて來た結果、前記のが強々はつきり多くの人々にが強々はつきり多くの人々に 日本 の肌に合ふ うに、次第に國産化粧品の 点に至 つては

粉)は非常に微量ではあるが、合親白

量の鉛を食ふ事こなる。尚は子供は遂に積り積つて可成多

入るこごもある。 夏に本病が

が、大人にでも又有器である

此樂が非常によく効くこい

です。正味本當に効けばこそ

全でもその定説があるのです

分でなかつた方も此樂では端

比べて多いここ、そうして行る度が原しい時分寒い時分に といふ 事は夏 は白粉 ここは云々。(同書七頁) 日本品の方が

美顔

白

によって白粉が流れて乳房に …。こ尚ほ終の方に小兒の玩から安心して使つてよい。 らは脳膜炎を起した例はなるな合社から製られる白粉 で、含鉛の顔料が整つて色ごに就て「木製或は土製の玩具 つてあるものがある。 ずつと良い の粉他類 ימר

に子供の体が毒に對して抵抗 夏は消化器が弱つてゐるため である。 である。 である。 に子供の体が毒に對して抵抗 く皮膚から吸收されて乳に沙 よつて鉛が溶け易くなつて多 よのでいます。及び汗に 粉は乳見には非常に恐しい有いと述べたやうに、含鉛白 ゐる事等が其の 供に直 れをなめるご恐るべき鉛中ま

えり元に 夏の婦人の姿態美は 先づこれからと

殊に平生の化粧ミして婦人間

氣味合だこいふ所から、此頃

なく又今の時代から言つても

▲後れてゐるやうな

脂肪性の方また少し年ばいの

方は肌色美顔水で右こ同じや

て長々ご座りこんで化粧をす

鏡の前で種々なものを使つ

るこれはごうも實用的でも

新なお化粧をする。また

▲色の白くない方、

適を一寸堂でつけるだけで清 て、お化粧下なしに、たゞ數

に多くなつて来た方法

る化粧品ならば、品数少しで

元來科學的に深い研究のあ

かいい

婦人の姿態美に快かされぬもに柄のよい單衣、これは夏の 柄のよい單衣、これは夏の

無鉛の固焼が必要で、然うい 無鉛の固焼が必要で、然うい

知られてゐる「美旗」の固煉を自粉三しては、科學的優秀で自粉三しては、科學的優秀で お勧め致します。尚白粉 ふ本當に安心な、そして此

かりさせるには、化粧用美顔 け易い方なごが保ちを一層確

水で溶いてお用ひになるに が、殊に優秀な化粧品になり 良いお化粧の出來るものです

愉快に顔が 品な清楚なお化粧の出來るも ▲只一品でも随分点 そこで、白色美顔水を使つ

3

て一寸焼る掌の感じ、それ に気持よく洗へます。先づ強 くない根やかな香、水を加へ に氣持のよい洗顔料です。

絶對に顔の荒れな

は「にきびこり美顔水」を常に便秘のあるやうな方は先づそれを治す事、そして一方に

上品なこい化粧に

美顔洗粉で顔を洗ふご大變 朝の氣縛は 一日の氣袴 な、純良な中性脂肪ミ蛋白質な、純良な中性脂肪ミ蛋白質 何こもいへぬよい氣持がしま こを含み、

るこ、やわくこ、すべし 終へてから顔の隣に觸つてみ で顔を無でる気持、さて洗ひ 水白粉ではなく、白粉の原料 こして、わるくギシつかず、 水で溶いたやうな葬常一様の

普通の白粉を普通の化粧水や 一口に水白粉ごは言つても、

勢なく美しくさせるのか? 白色美顔水や肌色美顔水は

味豊なかお化粧をしておく: この仕方が盛んに用ひられま うな至つて簡單な仕方で自然

では何がお化粧をそんなに

生氣を長く保たせるーを完成の栄養ごなりまた皮膚の されてゐるーにより、水白粉 研究には實に多大な心力が蓋 ある美容成分一荒れを防ぎ、 に最も適した原料を製造し、 一方また皮膚の整美に特に力 すっ なきものこして知られてゐま

も飽くまで厳密な科學的方法 の一流製造家のそれに譲る所 谷化粧品研究所の研究は歐米 によるからで、この点では桃

實用的で

現代的との評

たい

一種で綺麗に

粧力の優れた白粉ミを土台に し、そして製造の工程の一々 し、此の美容成分三前記の化

肌色の粉白粉

八間に急激な傳播 熱心に持て囃される 肌色の水白粉と

からして、特に ▲科學的方法一心の

白粉ミなるさ白さがしつくり殊に色の白くない方に真白なならこ不自然に見ねますが、

こせず風色になったりし、

日本人は一たいに皮膚に黄

色味があり、色の白いこれと

人でも真白な白粉ではごうか

▲化粧水を兼ねた類の無い白粉

来たのも婦人間に然ういふこ をの自粉が急激に迎へられて をの自粉が急激に迎へられて

手早く上品に 来る化粧の出

指ヌケのする類のない 品なお化粧美を現はし生地まで 一寸階けるだけで活々こしたよ 水白粉!

やかな白さを好む人々に適切。 お水白粉で、色の白くない方、 と

氣ものになつてるます

肌色美顔水は科學的な情新

よい肌色白粉ごしては、

美顔水三肌色美顔粉白粉が人

科學的製品で、本常に具合の來た爲めで、わけても厳密な

段々問題となって

で、従來真白な白田では根本

うに出來なかつた人々に、

▲色の白くない方の白粉 肌色 一美餌水

一年ばいの方にも一

粉は見た所軽い肌色味がありが出來るのです。これらの白

て行くこ、その微妙な肌色のますが、さてそれを顔へ持つ

▲落附いた美しいお化粧が出來ます
▲猫店かにそして如何にも上品な…

本語店の白くないのが自然にかくれ…

白い

此仕方

▲上品なえり化粧に

白いやうな白さに附くので評判の自動しな常に上品で美しい。生れつき生地からない。

日焼も防げる

にははも浴び汗も出。自粉が家にのる峠三は遠ふのでお 称も易くまた日に続ける心化 のです。 白 と言ふので

す。一度附りたら牡丹刷毛で附けま 水か肌色美額水にして、淡い たらその上からまた附ける。 押へて自粉を落階かせ。乾い

粉

桃谷化粧品研究所創製

717

美調頭

水際立つた美しさです!

▲自制のト

でその上を無く押へます。 一性丹騎毛一で押へたら 脱色の方が一そう適合する事 水の方が一そう 綺麗にお化粧

個かいよごれを去り、皮膚を に化粧用美顔水。これは皮脂 給かガーゼに含めて頭から類 をよく拭くのですが、地説の をよく拭くのですが、地説の

づ美顔クリ く雨常にのばして白粉の上 仕上げは粉白粉ですが、

ームを少量極く渡

それが粉白粉であるだけに、 川は肌色美顔水ご同じで、

ル色美顔粉白粉は、化粧作 (理想的ごいはれます。 ~ (理想的ごいはれます。 ~

で、唯作

白いやうな白さに附く。その

目然のやうな、生れつき色の

わるく白くなく

ぎにもよいこいふので流行つ 粉をパツフか粉刷毛で軽く押 あり、保ちもよく、日標の防 この仕方は非常に綺麗でも 軽く押へておいてから、粉白 へ氣味にして刷きます。 この仕方は非常に綺麗で

粉化粧用、化粧直し用、仕上 かも肌色美顔粉白粉も、量に 水も肌色美顔粉白粉も、量に 水も肌色美顔粉白粉も、量に 水を肌色美顔粉白粉も、量に る肌色味を加へたこいふばか

別の原料こして製造してあるこいふ風で、料事的研究の最近にも勿嫌優けをごらない立派なものご言はれ、場がいないないではなるのではない。

外出時の

引しめ、白粉を附き易くする

粉一は白色美顔 い方や脂肪性の方は肌色美顔 も御願意ですが、色の白くな方は「白色」でも「肌色」で 一注意の点一は色の白い

時は次のやうな仕方が旅行つ

▲色の白くない方の粉白粉:

心美顔粉白 脂肪性の方年ばいの方にも 粉:

◆生れつき色が白い様な ◆婚訪のむる光を背し… ◆立派なお化粧が成ます ◇品があつて要床しい… ◆そして洛附合があり…

肌色の自粉に適するやうな特 土台の原料から 相州北下浦に向ったが同十一時代の乗艇職中船長代理近畿信仰外十一名は飛虎艦民に敷助されたが他

は来る二十七日に五哩、八月三日 は来る二十七日に五哩、八月三日 は来る二十七日に五哩、八月三日 における始めての水泳大會を撃行 いまける始めての水泳大會を撃行 いません。 は来る二十七日に五哩、八月三日 における始めての水泳大會を撃行 いません。 の所は変成高くカープなり は来る二十七日に五哩、八月三日 における始めての水泳大會を撃行 いません。 の所は変成高くカープなり における始めての水泳大會を撃行 いません。 の所は変成高くカープなり における始めての水泳大台を撃行 いません。 のであったが被

整へてあるので時に猛烈な総古を表遺取及び早大劔道取との試合を表遺取及び早大劔道取との試合を表遺取及び早大劔道取との試合を

佐賀縣被害

流のはあって日午後六時間港出版 漁のはあって日午後六時間港出版 漁のはあって日午後六時間港出版 漁のはあって日午後六時間港出版 漁のはあって日午後六時間港出版 漁のはあって日午後六時間港出版

ふ行方で明九十餘名 とれに伴

黑石礁水泳大會

擧行の日割決定す

「早枝

住家全價白二、年價五十

福岡の被害。『福岡十九日安職に遂した情報に使れば光者十一名、貨職者百名、簖線を配一千一百五十六、特別一千二百五十六

秋十月、鏡研と合同して實施一、測定の時間

二十一日午後四時三十分より實策と一時一院の腕を受ける港大郷館製

デュール及び補供都市緊抗出 のり 製満供決勝酸は製農機能のスケリ製満供決勝酸は製農機能のスケ

■係上中止されるやも知れぬ

夏稽古開始

發動機船沈沒

長崎縣

慘澹たる被害

被害は他■に比し幾分輕優の模様時以んだが詳細の報告未濟なるも時以んだが詳細の報告未濟なるも

大分縣被害

【大分十七

今秋十月體研と共同

の令系である。
の令系である。
で表演の典を挙げることしなっ
ない。

法實決勝戰

(東京十九日愛宮国) 補刑野大教 郷が武器は天屋職と助氏長女繁子 郷が武器は天屋職と助氏長女繁子 郷が武器は天屋職と助氏長女繁子

月株 常金主

死者行方不明を出

一の後島四様に出で藤井の右飛後 が田に一ポール後では全たゝかれ が田に一ポール後では全たゝかれ を受職な力なく矢野を四球で出し との遊館トンネルが因し加ふるに 打戦よく何事かあらんと期待されたが使かに一點を得たのみ 中飛で際く被職止む見るものプレに風探して島藤井を選らし岩林の 八囘の波瀾

第八回連役の常栄順く成れしと見

個再び音声に数左覧打の二本を許さまらざる内に音野の遊越覧打と大き速投手さす■桜は影暗劇の定規を開展の皮を観光さす■桜は影暗劇の定

たる、安打三本で六郎、但しこ

點である、着林先づ左嗣テキ 四球二州球 - 凡失二を加へる

一十、この回注軍登場人物十名滿俱 2000年の東京監を加へすでに大勢決回 2000年の東京監を加へすでに大勢決回 2000年の東京

四再び吉町に北左覧打の二本をまらざる内に吉野の遊越單打と

PH中井公山で上原生遺

本第六回 満倶 本事

川へし安打―若は川へし安打―若は

試 合經過

総局時任と上原交代す績いて刈田 に致り中澤戦督に何事か切望す。 に致り中澤戦督に何事か切望す。

分分分別では、 一、別定の種目 一、別定の時間 一、別定の時間

公學堂兒童の 體力を測定

能之助はその共祀者として盗局された、今夕市ヶ谷 であり、 であり、 であり、 であり、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。

佐伯博士婚禮滿洲醫大教授

が前の名は深なしには置めぬ名職は 東歌されて大野州、八月號の開土 でいる。 大野の名は深なしには置めぬ名職は 大月號の開土

全満選手が集り クレー射撃大會 けふ湯崗子射場で開催

● 報助する者もないので見るに見 長い間の赤質に早附近にも無単に

ピン層九時十五分的第五列車はピンに引返し十九十年前十時へ 旅客の学数は穀援列車でハル負傷者十名邦人の被害はなか 九日午前午前十時へル

第九拾回決算報

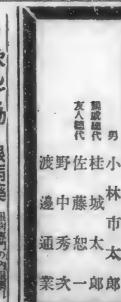
作四年拾城月)

局送り 流達人殺し

要サルである十九日際紫安や野、の北段一万流の遊人を殺した日黒一四三二大人保隆之助の北段一万流の遊人を殺した日黒

社佐藤北海道殿技師古田庭館海電 大定線国本が青山してゐた

前期繰越及當時 手



飲んで効く眼病薬

殿殿無代進呈 Aidem 加古眼科藥本家

U

二十日より二十六日まで 日本 荷新 常盤號が心齊橋へ進出 界各種 ゼリ × 東京風菓子謹製 せりひし シ 十二日 木 山田 米の胚芽よりの特徴にしてダイタミンBを開東腹郷買組合、清線消費組合、三越食料品部にありますから開東腹郷買組合、清線消費組合、三越食料品部にありますからと非御買上下さい。 ん主吸 が来るのが其特徴であります。 一般であります。 が果あるのが其特徴であります。 が果あるのが其特徴であります。 が果あるのが其特徴であります。 には、「は、「は、」、一様 の 沿線各地及市内の特約店を求む R 濇 満洲總發賣元れ 産 東京田島 黄一あみ。昆布 佃 串刺あさり貝 はぜ。蛤 しん 坳 谷 些 00 賣 临店 洋 た店店

東海道地方を荒す 暴風 東海道本線與津江尻間遂に不通 進み

庵原川汎濫 列車は折返し運轉

の構製製道に架せる應原配液失真

與津附近で 土砂崩潰

関語の特別は溶準解に不時体率を 車不通となり午後一時五十六分割 の特別は深準解に乗り上げたるため列 間に土砂崩潰あり線路埋没せるも野時四十分重義所のため異津田比 《靜岡十九日殺電迪》十

二時で蘇く復動した

で二百名の工夫がめ死となつては解釈期だしく増水しついある

间の魔原川郷樹附近は今

単は取り歌ず術返し嵐棚をなり

(鹿兒島十九日歿電流

被害甚大

哀れな兄島高徳 貧苦に惱やむ一家へ

恩賜慈惠査金から救ひの手

本紙朝刊連載、日活現代観察本から、略配座関人が構成した「此の母を見よ」は補別に於ける

次回連載小說

仲木貞一氏作「海の唄」

挿畵は春陽會の一木弴氏

事件後報東鐵列車顚覆 客列車職型規場は五家より約二 部は何れも脱線した死者はないが事件 後れ 車を建し前部 二等車 三等車 管理 前部 二等車 三等車 管理 前部 二等車 できる できまる またまく 機関車、手荷物

清十一、非任家暗演二十七、報演 後五時調查、任家暗演二十六、第 後五時調查、任家暗演二十六、第

宮崎縣被害

ふと、會質は一般计銀小人學生は不能源水浴器では本世日正午から黒

满鐵水泳部遠泳

十五、歴史田漬六、郷の海ニナン

で長くつやをも 大道民政署管内各農業整能では大道民政署長として神田梯一氏の新任を贈とし来る二十三日午後一時 談會を開催すると 農事團體怒談會

郷院長は二十日から二週間市内東郷町間端ホテルで治療の需めに置

かさな騒き聴さへ流れてゐる。

はない。 はないなって行く自分の職権を判 地ないなって行く自分の職権を判 地ないなって行く自分の職権を判 を表している。 と思うる限に崩れて、重要久 を表している。

独二 黄九無 会士 白安子

場所を取り配んだ人はは容易に

では、さわめき異めた際国など に何んの心掛りも脱せず……たい のたすらに後子の冷たい脚を捌き

無利用をして明めて ・ を は、 単生、 青年間。

ユニオン

儿

さわやかなかほりさかやかなかほりでいと来る刺戦であるがほりないとなる刺戦のような心立ち

れ、二言三哲似い略でぶつぶつと 舞うなると――千月は先級家で

を対すでのような数点線なかった。 を対すでのような数点線なかっても は、どうしても指て来ない、情な は、どうしても指て来ない、情な は、どうしても指で来ない、情な は、どうしても指で来ない、情な

きた際を思ひッきり唱んでみた。

29 ...

と心にむみ入るよっ

双木丹 灰光 食売グツラド田有

誰が殺したのだ!

きないを担ひりきり

先時二段 養婿 香獎(東京) 中央聯珠賦大鴻支部職體

湖日聯珠源信戰(三)

役」について残い考慮を持ち省め をは、今初めで此の「出来事の主 のであり、日本事の主

想きり至った此の際しい

其時、既に其の女は死ん

「たち、あの人には労動としての が会は解らない世界があった。 あの世界には女性としての感染よ った、だが世間にとつて「母動としての

あつた。

似たりよつたりの途をおいて来た だが出し、は同じやうな組合で

て来てるた。 をそれでも眺め掘えるように眺め 秘

はしく感づまらせるかと思はれる のが触先きにつかへて來て、とも

落ちて行くような動けさである

心臓い女の飲泣きが忍び者に促つ 何時の間にか、人情のぬからは

なの変は冷たかつた。 だが、長子の死骸を抱いてるるだが、長子の死骸を抱るようだつた。 は路に沿ふて歌々と灯されてる なで、決に離れた彼女の戦のなかに歌すんである。 へればぞへる程度立たしいも置すんでゐる。 (天七) 世界に――それは智へは「めつぶし」のようなものだ――をかは智へは「めつぶん々は何時の間にか順を垂れてるた。観然……と変の歌歌が人てるた。観然……と変の歌歌が人 立上ると同時に、後女は並居を 人々の観に向つて、もう一度時ば 千日は平然と立上った。 誰が殺したのだ? を 畸面 見

座

同

楽た。

(A)

明日活現代劇臺本より

戦前には戦闘型戦だ双は戦闘の途戦戦だとかほ 出來る**沐病の檢査**

が蒙見の種々の手段

Million Mandelle

電質は入江たか子と視花久子』 を関わかけた転線を働き分けて近 動りかけた転線を働き分けて近 ので来る人の類似がした。 神斯温度定率表(智易維護調査

五

和

. 昭

15.65 見では、 高官の株房主美は治淋の服薬 として、梅毒素主美は脳梅 として、梅毒素主美は脳梅 をなった。 でないない。 でないない。 ではない。 ではなない。 ではなな。 ではない。 ではない。 ではなない。 ではなない。 ではな 歌米醫科大學病院

るがそんな家法はまだ野野洋では認められて居ないのだかである。報過さたての小便をコップに取つて見るさ、小水である。報過さたての小便をコップに取つて見るさ、小水である。報過さたての小便をコップに取つて見るさ、小水が取れない様では変がはないのである。有田ドラツグの薬が取れない様では変がはないのである。有田ドラツグの薬が取れない様では変がはないのである。有田ドラツグの薬が取れないます。 「淋漓」が目に見れて減じ臓が止まり痛みが取れる。これが同じまり要素の有効を立置するのである。

工場で製薬した良剤である。 出来た下温の最新式の電系 商舎の製剤は日本で初めて

め始で本日

縄工業型グツラド田育

清 合 英門

本 維大阪內本町二

に叛薬に拉箱薬る 『有田香松鑑製』 ラッ 所專 在實 こも字の文 地所 なり

大連但馬町角 鉄 嶺 瀬 東 京 六 条

速 数 營 族 縣 山 泉 泉 泉 泉 泉 東 泉 世 賀 野 街 町 天紅 哈爾東京 安東樂市品通

高の

質

の味



信用トンテ最モ高部ナ

對滿線代理店

合株

小児科

大連紀伊町二七

国間六〇五〇番

44

高尉工業 教育玩具、文房具每日舍 軍電車御符合せ中に開立寄り下さい **元五八八三八書**

交通范便の地であります 常經標電平序留所施

天津海洲航行

香港廣東行

午前十一時

① 大連汽船

太三商會

四季権、長寒、吉林、哈爾賞其他 「一本」 4 荷坂所(電話四八〇二番) 「一本」 4 荷坂所(電話四八〇二番) 「一本」 4 荷坂所(電話四八〇二番) 土蛎

李克時出現 (唐山北 七月空日 李克時出現 (唐山北 七月空日 大塚新樹 大 連 支 店 電話四 三七番 電話四 三七番 電話四 三七番

浸じ 自然 かに洗濯出来る土地も傷まず 登場の変店、百貨店、化粧品店、食料を ・すから観賞求めの節は小太丸粉末石鹸と組 ・ますから観賞求めの節は小太丸粉末石鹸と組 ・要素の変店、百貨店、化粧品店、食料を ・質店等にあります。 ず 北 御奥様方に御注意 1 大連市党域町一〇〇

電話代表四一四一番電話代表四一四一番

●欧州行【計簿、

大阪商船蘇武大連支店 監容調画り

京原香荷 丸 二 商 京原香荷 丸 二 商

會

大闸市山縣通電紙(七八四六

日本歌歌大連出張所

. |||日本

世间

製造元 日本麥酒鐵泉株式會社 宮內省御用灣

ミッ矢サイダー 金線サイダー

属上は青州淄河店間に活躍する韓福修済線の戦争畵報

昭和五年建實行豫集節約總額は二

拓務省節約額

★語より解し易くて用語に便なの

日本とで素行いでは、 一種由から今年から女際生の確助と 全部収止めた、斯ちし、 全部収止めた、斯ちし、 全部収止めた、斯ちし、 一種のであるとの をで素行いでは、 一種のであるとの で表して、 一種のであるとの で表して、 で表して、 のでは、 のでは、

高級銀校への入職が日本の穀校なと、大學、高校、専門銀校の如き

極生を米國に吸收される何

のれる傾きがあっれる傾きがあ

ので我國當局も黝策に関心して

海軍側の意嚮

條約成立に一致

人一時間に識別するとしてある。

政府は前途を樂觀

取部内の原轄は継まつてるる監督

不思繁の影響を受けて相當の減收。金が概念されてゐる結果で實際は蔵入超過を示してゐる結果で實際は

五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五七四四

魔策が六千四百六十萬五千岡の橋間は三億九千三百四十六萬四

ぐれば左の如し(項位千圓) 本書作級督府 取入超過 一八、〇四 水入超過 二二一、九四

三三0,0111六回回

二四〇、〇二〇四一八、九七九

節約額

してあるが石節約額の内容につい 英語の歳入戦略を確塡すべき六千

過ぎず三分の二は

を 経節の 如 延減し

六〇、五一六、二三六六〇、五一六、四四四、六二四

図留學生の世話は近來米國がわがこと、してはとの意見がある、民

計

圏の歳出節約を決定しこれを以て 日の定例殿譲において六千五十萬 「泉京十八日歿電通」 政府は十八

機震する計器を立て目

普通最高一ヶ月七十五組最低十四、

の態質の補助を受けて居た、ソレ

位職文たどの爲めに耐発を織ける 政府より特別補助(大概等等後歴)

の日本智學生は三千名以上、女子

到支文化事業擴

張か

本年四月末現在)の谷稲民地當局、東京十九日慶電通】各層民地特別の谷田田和四年度議入業出場記(

となって

ある各種民地関項計を確

四一〇七三

各種民地特別意計收入總計は四り拓務省に報告された處に依る

約を斷行



権利主張が有利

大大大格比各種學校数員在

とり三日間、大連朝日

鐵道省異動

八日福電通」本山の線で

當

7

民間の意見接近

にて左の如く人事。を決定した

「大阪鎌濱周長(二等)

大阪鎌濱周長(二等)

佐願免本

商工省異動

仙石總 裁の 閣

僚招待

既定經 きの 水せざる事 閣議

日間個の後定である個職者組合命議において最後の概まりを見んと 日間個の後定である個職者組合命議において最後の概まりを見んと 日間個の後定である個職者組合命議において最後の概まりを見んと 日間個の後定である個職者組合命議において最後の概まりを見んと

脚と決定した、然し他方面にて約 年度議出部約減は總額六千五十萬 年度議出部約減は總額六千五十萬 の結果五 から今後も緊縮方針を銀ければなれて再裏側の騒響を設出し得たので七百萬側の騒響を設出し得たので七百萬側の騒響を設出し得たので七百萬側の軽響を設出し得たので 人超過五 公債計量については既定方針 百州七萬圓 現計

施定経費節約は別に大蔵省に 機すること 選決定を纏ること

算は昭和五

くである(単位千層) 本 務 費 本 務 費 本 務 費 を 通 以 取 容費 を 通 民 保 級 更 職 費

は八月州一日限り提

恩給負擔 總額六百六萬圓

三五七

日より谷官應は報中体暇に入るが『東京十八日級釈通』率る二十一

満洲醫大の管理

地方部移管問題を保留し

依然總裁直屬で取扱

國防案懇談

條約問題協議

東京十八日双男通 がる二十一回に園蹊を聞くことを明合せた合の評盤は炭蛭多く沙汰止みとな 総次の膨となつてあるので十八日の開鍵は炭蛭多く沙汰止みとな 総次の膨となつてあるので十八日の開談の脳上首目の退職に依り着の対象を瞬倒し端めてある。 協布間開 政府においては日下風縦し吹が未

「東京十八日設置通」明年度後 (東京十八日設置通」明年度後 (東京十八日記書)

學官所 南棒 關 基 朝 校立 取 數 表 數 學 學 洋 太 州 澤 鲜

其缝 「東京十八日發電面」 谷口取合部長は十八日午前十時代東郷元鵬を 長は十八日午前十時代東郷元鵬を 「東京十八日発電面」 谷口取合部

前の負売減は六百六萬間は各種が大十五萬間は各種の 六、七一〇

た 間触された爆大評論域館に出席せる森幹事は十八日母 | 隣線にれた爆大評論域館に出席せる森幹事は十八日朝 羅軍して語る | 開か出され現職制としては対計は獨立日であるが機關としては対計しての取扱は

で事業質なんかも目下建築中の をは更に進めて独事をもして完成する外一切機運転でとなった、又新 規事業たる學生を支那各地の病 規事業たる學生を支那各地の病 規事業たる學生を支那各地の病 が、それから從事員を計上する た、それから從事員に對する た、で統職しかを計上する が変身あるまでに滿場一致可決し の。 が定を見ることになった、又新 が定を見ることになった。 で統職した案に評議員会において最後の が定を見ることになった。 でこれ で統職した案に評議員会において最後の が定を見ることになった。 でこれ で流動した案に評議員会になった。 でこれ で記載から開かれる等でこれ でこれ ででこれ ででこれ

日間出を聞いたので十八日日間出を聞いたので十八日

中尾藥學博士監理 帖佐醫學博士推獎

決議案

を開き蔵製統隊につき協議の総集を開き蔵製統隊につき協議の総集 新術な観音に附続するに決し四時 たの成案を得これを決議として政

江田

9

3

2

金

地球故事屋 宮崎の制度によれ、先づ前年度の決事場告は発生を明確すること」なった。先づ前年度の決事場告は異なく可決、本年度の實行短算を切り詰める方針を採るので決略としてもこれに從ひ物件資を切り詰める方針を採るので大場としてもこれに從ひ物件資

米上院で否決されん 洮昂四洮兩線 輸送狀況

表決々議案

会決されるものと見てあるが総約支持者の勢力は反繁。れたのは六月上旬からで貴近は一部出せんとしてある。歌は討識総絡を阻止すべく随事しを遊送して評通郷由河北に輸送さ級の養決を行はんと、橋は澄れないと述べた。総級反繁、平衛打切り銭物が四藁、歌白韓線が下衛打切り銭物が四藁、歌白韓線でおける四十七日發電通ーアメーメリカは斯かる監査を必要とせれ 現大洋で三十元ほど安いと観大洋で三十元ほど安いと

夏季講習派遣人選

に離くない。 の機力策を購ずること推奨

本舗

山田安民藥

工费期间

夏季講習日割

黑龍江省主席 更迭斷行か 後任に張景惠武説

約兵力量に難しては等し

へ不満を

動の要がある骨を歌明しこれに数 文の表現形式については衛士分析: 地はないないないなので率等

時、陰目、精節、陰陽・松に左の 南蒲教育会では來る八月一日から

祭者一名都合十二名に決定したが 祭者一名都合十二名に決定したが

▲八月一日より四日間大連弾生 ・ 蛇の進歩と地球激變」と関し ・ 蛇の進歩と地球激變」と関し ドがついたらしいる 東風雨の

ででもあるかの如果風雨の

ででもあるかの如 天 気 歳 報

> 日二見エテ 井上獨逸博士ノ イタマス ズンノ 小兒用口一

南京特使張群氏 張學良氏を訪問 兩者の會見注目さる

方針で実進すと。 は合といふべし。 は放験補具、一統一で十五回ま をといふ、いよく世智等くなつ をといふ、いよく世智等くなつ

今さら波慢もならず、緊縮方針で進むより外なく、補民地蔵入超



●全間とこの薬店にもあります

▲胃活は强力なる健胃整勝剤にして之を常用すれば胃腸を根本的に出機にします ▲胃活は胃腸内を清淨にし、 を整へ、消化を住良にし、體重を増加します 食然を 進や便通

の限り、それも不可抗力とあつて心思気の上に暴風雨、迷惑千萬

大體小質

は仕方なし。

本小谷節夫氏(青島新報社長) 八日大連丸にて東連、廿日はる びん丸で内地へ赴く豫定・

ところ十九日入港貨州丸にて図 かねてより山東方面に出張中の かねてより山東方面に出張中の

【東京十八日發》通】明徽決定 特許詞審判部長 大嶽 健治 任衛工省保險部長(二) 任特許詞審判部長 大嶽 健治 午前十時より市場本館を搭集した 記事項を附近すると 記事項を附近すると 記事項を附近すると 記事項を附近すると 一、市税与加額追加減課額決定の件 一、市税与加額追加減課額決定の件 一、市税与加額追加減課額決定の件 一、市就可懸油市場倉庫增築の件 午前十時より市級再舎を揺駆した大連市では来る廿一日(月曜日) 市參事會議案

版はり、又通じ聴き人、飲み過ぎなひ過ぎの人と 優性胃湯で顔色悪き人、胸やけ、生曜の出る人 の時に腹の形な人。 キット効く

があります。一種を是非試みられよ 新かる人に對して同活は最も緻密な効果

知 一幅の活人器である。根係するだ。 ・ 本多くなり彩加テームの力量もま ・ 大売響する、今週も五千二人の ・ 本部にははとばしり気は聴る、本社に ・ 本多くなり彩加テームの力量もま

の間に辿った、火盗を切る日は

全

中等堂校溢洲予塞會

佐八時頃より颱風に襲はれて入日發電通」 熊本地方は

花柳界は大恐慌

久布白落實女史の來連を控へ

當局と營業者惱む

各地の被害

局松宮殿下

ヴェルダンへ

Ħ

倒壊家屋

に いんピン特置十九日を設計して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に同かつた第四號列車の乗客は右よりは直ちに急渡列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かつた第四號列車の乗客は右よりは直ちに急渡列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かつた第四號列車の乗客は右よりは直ちに急渡列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かつた第四號列車の乗客は右よりは直ちに急渡列車を出して現場に急行させ同日長春から哈爾賓に向かつた第四號列車の乗客は右よりは直ちに記憶がサ十九日午後十時乃至十二時哈爾賓院長春に向った夏安第三號底客列車は十九日のあるので第五列車から町猿表通り運転する後定だと 邦人の乘客は無事

大颱風は

明朝までに

九州全線の 惨澹たる九州 9 小狮雞拔毗挖十戶節覆軍艦鐵者十一川州十八日發電通一職職市住吉

運轉を休止 送電も中止して暗黑

したが兇傷者は幸ひにしてなかっ 十戸及び中尾線場は十一時半側潰

大分縣の被害

敗名を出し

家十餘戸館では、 本魚網舎社に場及び風呂屋及び民 一般戸館で風呂屋及び民 日本魚網舎社に場及び風呂屋及び民 た

尚は杜絕

孤立の長崎市

【長崎十九日歿電通】嵐の後の今 で記載から各所に被害あり大分も の遺職多く各所に被害あり大分も の遺職多く各所に被害あり大分も

大阪も警報

藝酌婦の自廢運動に 十分大阪測候所も警報を設した『大阪十八日發河通』午前十時三

風

紀を紊す男女

大十数組を開む係の が中には人要

研けつけると 一に顔し取付けにあって居るなどと 一郎の商人間に先続べ類銀行は晩配

性有する質にして打響亦良好 捕頭の正確ど最肩なるは彼の 手としてその人を得たるもの 長身にして鞭足なる彼れはた りょぶあつばれなものである、である、全々を統帥する主和情である。全々を統帥する主和情である。全々を統帥する主和情である。 ▼平野中堅手

創業以末初めて

0

山内

「ホノル、十七日設電通」明大工 を鑑めた汎太平洋水派大館の鑑賞。 今日より紫一日の競技を開始され 今日より紫一日の競技を開始され のである。 「おから、」

大會開始さる

ので自搬を企む傾向顕著となりつ 日間の興難停止を命ぜられた、理生きた猫や鶏を食つたりして健康 別めた特殊階級の場女が髂波を帰くにいて、近最初のことであり、狭に時代にに、実験服治(いっ)は十八日大連興保安 ふので富向から興行の許可を受てに最初のことであり、狭に時代にに、実験服治(いっ)は十八日大連興保安 ふので富向から興行の許可を受ているるものであっが多數観光の前でで呼ばれる。 を続けた結果新進選手が一ヶ月前より合宿なし 配して再度の優勝を難していち早 を以て際く光質することをはた。

利選手で陣容を整

青島中學軍の

豫選大會の出

野手を失つたため前深語だ悲歌さ数計の容潔に含ひその上五名の内

▼山本遊撃手▲ 財はその位置を死守するの氣 でも底力を有し一度位置に 大きでも底力を有し一度位置に 大きでも底力を有し一度位置に 大きでも底力を有し一度位置に 大きでも底力を有し一度位置に 大きでも底力を有し一度位置に

油版は禁物である、成るべく野貨 はない、然し新選手の多いだけに はない、然し新選手の多いだけに シの張味であっとして一體となる感はこのナイとして一體となる感はこのナインの張味であっ

力は運転を強れず東京方面への高に依りなし居る僕め局員必死の野電話の不通に依る電・網をこれ も復識の見込み立たず鬼信観は幽っているの見込み立たず鬼信観は登れるの見込み立たず鬼信観ない。 等信は海底線に依 り一先づ基値に いふのでお灸をすえられたもので「繋むした性を養養し、風歌上頭白くないと」ある。なは今後は

鐵路浸水で脫線し死傷者多數

極力復舊に努めつ」あるよ何 るや今の處見込み立たず 時は電柱の暗波数だった。 奧元帥薨去

一葉の響成を要すると かも知れず其の際は山陰から北陸 から知れず其の際は山陰から北陸 るは、 大阪十八日翌貫通 地へ北東の進路を取って進んでる が千島北海道に選供の高氣騰あるが千島北海道に選供の高氣騰あるが千島北海道に選供の高氣騰あるが千島北海道に選供の高氣騰あるは、 であるが千島北海道に選供の高氣騰あるは千後 の報告に依れば今回の暴風雨に依 ・対判・する被害は死者八名、家屋 ・戦闘ニナ戸、漁船ニ十三隻、愛鵬

御差遣

原京城十九日設電 雨の高め京元城安 雨の高め京元城安 市の高め京元城安 東京の高め京元城安 東京城線線水興、高原印 であるりたった。

御沙汰

電磁では、 ・納戸戦メナオ、 ・新戸戦メナオ、 ・新戸戦メナオ、

めらる) 信野 奥 保 愛叙従一位(特官を以て位一級を進

大連署で一齊檢學し

は風起係を設け取りの夜を楽す男女 (締を殿重にして 今後も嚴重に取締を勵行

太平洋婦斷

支那金融界 攪亂を企つ 流言を放つて

本とと戦級の選別を終して映画成を とこのえついあったが、十九日午といなった、倘然日は柳鶴屯に向ふこといなり、踏級の趣解を といなった、倘然日は柳鶴屯に向ふこ 「要菜十八日装電通」タコマ東京間無電廠飛行評監中のプロム中間無電廠飛行評監中のプロム中間無電路飛行評監中のプロム中間に決し本日米國大使館を通じ返信に決し本日米國土内の飛行託可を出際。 では日本調土内の飛行託可を出際に である。 映畵班派遣

生安心なる=求職募集 焉 新 療 法

これが出ていています。 HEICOLD THE 輕快にして實用向 熊澤のルパ

今朝、突然吐血 本密頭の内女を て がありがり盛しく暇行歌歌者たる 小崎子公職会長の観堂氏は病気の 小崎子公職会長の観堂氏は病気の ため郷里南開機に沿着中であった ため、崎子方面では商人間において相電動橋の表さへ見えついる たが小崎子方面では商人間において相電動橋の表さへ見えついる したるも最近契約間し一時電機においてあること判明し一時平線に着いたれる したるも最近契約目とついるので同報で、 は日下極かった。 廣發丸の 船長召喚

日満間の電報

十九日午前八時逐信局の調査に依ったが、まび山り壁方面大泉風のまた。 まだ遅延する 理事より既然と国家放送せる松浦汽船所 市場大場の駅中大井回丸で破っ 一大大井回丸で破った。 一大大井回丸で破ったが、海豚原丸・ 一大井田東の駅中大井回丸で破った。 一大井田東の駅中大井回丸で破った。 一大井田東の駅中大井回丸で破った。 一大井田東の駅中大井田東で破った。 一大井田東の駅中大井田東で破った。 一川東路では、 一川東路の駅中大井田東を命じ木村 ではったが、 一川東路のではったが、 一川東路のではったが、 一川東路のではったが、 一川東路のではったが、 一川東路のではったが、 一川東路のに大村。 一川東路路のに大村。 一川東路のに大村。 一川東路のに大村。 一川東路路のに大村。 一川東路路のに大村。 一川東路路のに大村。 一川東路路のに大村。 一川東路のに大村。 一川東路のは大村。 一

安席、旅館等に最適 家庭、料理屋、待合 の驚壹個六十銭

長

生

道不通

大連線は十九日午前一時十五分より電信の日時を必要とするから流ったは、 一に全部域像の日前間電信線が全部復興する近に後端が今日前間電信線が全部復興するが被害地方面の 日本の日時を必要とするから流ったはなけれないと おなじみの 天帆 生漉塵紙

高級仕立、薄利多高初囘抽籤 八月十

二日日迄

爲め其の他の

景品 白帆衛星化粧紙 大賣出し

濱

世二一方九二

御野菜料理は一皿並三十錢似

きや

き鶏の

第呈数しま了 になる方に限り更 第一本

夏の夜の公園に

拓茂洋行紙店 日本一面白い大雑誌!一册値が五十段 お忘れな 「講談俱樂部」

ハナノヤノ

七四二九

ラ

御料理は一旦出州五袋似 は安の爲我々の營業用原料も値下がも出來ませんが野様の御期待に副ふ可を で発して願上ます。 の程伏して願上ます。 の程伏して原上ます。 の程伏して原上ます。 の程伏して原上ます。 の程伏して原上ます。 の程伏して原上ます。 の程代して原上ます。 の程代して原上ます。 の程代して原上ます。 の程代して原上ます。 の程代して原上ます。 の程代して原上ます。 の程代して原上ます。 の程代して原上ます。 のます。

(商號變更)沒速町

コロムビ 出に! 納凉に 驚異的に巧妙を極めた ポータル蓄 音 器 ¥-100

のきいた煙草盆でするも到底説明も形容がはんとうにないほんとうになった。 とうにきるとうにき なくてならぬ

製造す極めて微妙なる装置により 自動的に回轉が止まります 自動的に回轉が止まります

共体展売予足の領む観方房 正價金百圓也 るひ立つて曳船へ手をかけたい、確便の人の力を見よ」

左近は絶縁のあまり、その身を

左近の扮装で挨拶する河部五郎

前に螺硬した。 「た流どの、左流どの!」 「た流どの、左流どの!」

石原の満長衛、中里のたのか調子が出ないの大のか調子が出ないの

で自手を与けてゐる。

田された時、飯町関丸は砂螺を たりばらせ即発を選げてある左近 の姿が、繭く消えた砂蟹の底に見 りをが、繭く消えた砂蟹の底に見 りを変が、繭く消えた砂蟹の底に見 ります。

秋日役所で拍手をうけてゐる 第二は本社縣整色生曜都際で、期 後されてゐただけに接手の飛ぶ事 人 先づプロローグに於て映鑑、事

を以て挟護 で映識が で映識が でいまず と 大きず

↑ (い)に尖ん

い、異州六は(つろ)に他のこれをの十二 〇三五ヶの十二 〇三五ヶの十二 〇三五ヶの十二

びわばいい 三二八タの 一二八タの十八 三十一 一六カの十八 三十一 一六カの十八 三十一 一六カの十八

R

呼

別府治淋薬

地獄谷の大劍客

士

電話

六九五滿日廣告部專用

別の息は断へた。

稍

[.... St St

「太響でござります、

を蒼白ませつムグッタ

左近線、かまつては下さいます

下さいますな」

転職に続し、断り死にして果

河

太郎牆

た窓明は東たの、いよく、まちこがれ

野宇・川殿川の武治い仕草のたち近が何父郷藩(徐

分の行の場で

急告!!

急告!!

比の版告切扱しました優

これでもかい

十四日

と言は内部りにな

和樂は涙を双眼

に膨へて左近の

て、やがては眺かな陽も照ららも

塔前で血出組の無後の大頭銭で筋で消傷を笑殺して大陆の上野五重

紀ち手が来るので

他の連中、一度 おくのだった

のに後逃してゆくでは

が、冷くなつた左近は客へないが、冷くなった左近は客へないが、冷くなった左近は客へないグラングキーラを乗せてフランスで船タイナス際、強くこの複戦のではなったがしつゝ馬耳塞目指

勘八で

不思照に飛んだ拾い 数州を買ふので近

一川の栗屋がこの

ヂオ

際宗を博し大切の洲崎士手 心部の妙忠院敵人が代豪を 都は期待されてるた妙法院 がの妙忠院敵人が代豪を

れてゐる(完)

相樂の酸が心悸うづまくた

パッタリ倒れた灰端を左近は抱 あげると、狂つた様にその名を を贈りがらすれた瞬間で に対 丸(四)

が、放棄は雌々しくも首をふつ「しつかりして! 儲は浸い」 「あ、左近橋!」 き来に染めた欧洲は流頭にし 部は強い 充分脱煙を定めてのち、

とぶ一覧。 とぶ一覧。

「や、左近殿、御手腕が出ったらしい 「先生、回じは燃えて居りまする | 金織に飛來した一弾、左近が面| 山本の細三はタイプといひ翻子 「おゝ!」 い無職の

異煙天に冲すれば、そのまへ整時 関近に道つた回場丸の⊯■部へ せめては最美の個加騰を我に聴へ「日本第一大車神、諏訪明神と、 左近は網門した。 でいまや黎明は來らんとしてる まった時、東方の空はの明るひに狂つた凝聞も次第に辯ま

觀衆を唸らす 初日の盛況 面白い艶色生膽秘譚 河部の實演

育も前夜に増しての際税を強烈さ の既において提灯をもつわけでな の既において提灯をもつわけでな ではある今 でオークチェレズとなつてあるがでオークチェレズとなってるる、個本社戦を原作に忠賞にてある、個本社戦を原作に忠賞にしかも立場と云ふ遊音に脚色した 舞祭に立って挨拶を

※要が更に高まり「劔襲王」「大統領」と大向ふから壁がかいる▲ところで「旅人概三」の中宿の場でしたが、また、東京が、なる▲と 験から「レンコン食つていやがる できないな質で終ち現代版▲また でする質で終ち現代版▲また まる「一般観王」「大統督を見て俄然へを記るのニュータを見て俄然へ

建立 北 パ 北 直吉以
『藤甲子女史

大連棋院臨時稽古著戰

[[]

-9+

三階6下も二階6下も

校花

不倒子土曜廣告

環能はら屋花環店

一階も下も二十銭開放 一階も下も二十銭開放 一階も下も二十銭開放

セル、

小倉厚司

-- [2] --

自午後六時二

料大切十九日北村北日北 九日封 霞

新男水郷佐峡郡 新男水郷佐峡郡 新男水郷佐峡郡 京東海之山・水ツモナー経 東海と山・水ツモナー経 東海と山・水ツモナー経 東海と山・水ツモナー経 東海と山・水ツモナー経 東海と山・水ツモナー経 東海と山・水ツモオー経 東海と山・水ツモオー経 東海と山・水ツモオー経 東海と山・水ツモカーを

三十銭券

ナガサロ 午後七時

十四日よりお盆與「

新興帝やネ四大作品の一

マラノン狂躁曲 部判を書行の

日本賣藥株式會社

休機器 ツ谷

旭照子·大野三郎助資 松枝つる子主演明 石 縣 郎主演

御相談に應じますの網票に開する總での

大浦市兒玉町西番地

性 病 熊等縣

拍せし (大將漂泊の磐)炊繭きに好評(呑氣漂泊の磐)の姉

大照功名の巻

凸のティド・マクナマラ氏珍演奏のサミー・コーエン氏珍演 生 派 皮性 病 歸 精 病 病 情 病 病

タバコと

| 大連市信優町市場 家の歯磨又それ フム フマヌは間せず高 でででいばを 立派に する倫勝です とキツベ する倫勝です とキツベ

神優の漸落に依って現れた新安配 神優の漸落に依って現れた新安配 神優の漸落に依って現れた新安配 神優の漸落に依って現れた新安配 神優の漸落に依って現れた新安配 ・一枚 力十銭 ・一枚 力・と云はれて居ります ・一人十銭から二段三十銭迄て ・一十分 から二段三十銭迄て ・一十分 から二段三十銭迄て ・一十分 から二段三十銭。 ターシャツ 一枚 五十銭 御下五吋から九吋迄半打 ノ出町七ノ五ノ三 吉山脊維緑河日間町九四 末 澤 良 雄 ■ 曖町三七 河川 正 機 接替大連一九五一 東京式にぎり **大連大山通** 3

全商品 浪速町の一角 返東百貨店 へきた 大進出のため

決意 この快報を各位にお知らせ 光禁を感謝いたします・ ろの

柯部五郎觀劇會 讀者優待割引券

河部五郎觀劇會 讀者優待割引券

最新良品を總て思い

决大處分致 しますからをあって御用命を希か

1 同元してない以前に関えの意見を 私は現に役員の一員であるがあめ に来が組合に向って會社の演恩を

當市は三

手數料問題考察

で て実臨に新しき何物かを家出せね で 大 にならかと思ふのであります。

生糸綿

又今朝の大阪総

先行懸念の折柄質氣 をとて荷動皆無一方先 とて荷動皆無一方先

の値下りを生じ製器に於て有情配的 素に依る減敗を除傷なくされ相常 を観ばる」を以て之れが動策に付て 題はる」を以て之れが動策に付て のと思はる。

船階を示した

歐洲大

當然の歸趨と殊更の要求

錢鈔の

用のものより二週間内外早く九橋子は前年秋降霧前に一般消費橋子は前年秋降霧前に一般消費橋子は前年秋降霧前に一般消費

一小変、青洋方面の信米が震撃向料 線であるが現在大 東崎は途月震波を呈してあるが、 脚くとも二十銭位 東崎は途月震波を呈してあるが、 脚くとも二十銭位 東崎は途月震波を呈してあるが、 脚くとも二十銭位

個出権制は期間では はつて居る。他つて はつと欲してゐる領 は一と欲してゐる領 は一と欲してゐる領

不整地して駐巾一尺七、八寸條不整地して駐巾一尺七、八寸條不整地して駐巾一尺七、八寸條四、五粒の種子を播下す反當所四、五粒の種子を播下す反當所四、五粒時として反當五、中に二、三粒時として反當五、中に二、三粒時として反當五、中に二、三粒時として反當五、中に二、三粒時として反當五、中に二、三粒時として反當五、中旬にし

温燐酸石灰を加用するもの少か ・近時之に反常五は乃至八質目 ・近時之に反常五は乃至八質目 ・施肥は普通反常二百萬乃至三百

で相場を作るから始終は既を治 知るには少し新聞を注意すれば 知るには少し新聞を注意すれば 知るには少し新聞を注意すれば を出して微くがは非常によ が、一般家庭の人々が銀相場を 知るには少し新聞を注意すれば

な交換はしない。

山中、西山 然し飯を使ふ事を使つてはならぬとは云へない なければならぬやうにしたらど な 金に換算して排ふ事は微は 銀建計りでは出らう。

高柳 塞天通りでは際山藤を配が多くならなければならぬ 河相 盛けになる事ならヤレる

| 京田歌は出来ない。 | 「四日 | 思歌なら少々な金では出 | 高となってゐるため | ない、又大调の倉殿料は相當に動 | ない、又大调の倉殿料は相當に動 | ない、又大调の倉殿料は相當に動 戻しをなしてゐるから母狀のまゝ 大手顕客にはそれ以上四五館の樹 大手顕客にはそれ以上四五館の樹

補助金を貰って危險を負擔一送し倉庫に積んでおけば荷主の

普蘭店に於る落花生事情

播種の時期は五月上中旬

收量は反當り皮付. 四五石

製糸業續々休業 盂蘭盆休みを機會に不意打ち 當局取締に手を燒く

を成してる。

今■の海外材料としての倫敦銀塊 ・ 大変、米英は何れる電線故 ・ 大変を ・ 大

大連輸出日本向

高粱包米激減す

加奈陀、南洋物の壓迫と

更に浦港積割安に

展射学 一篇 十山 展射学 一篇 11世 25 11世

大連市西通 株式大連商業

^熊大連商業銀行





(ii) 本社旅順支社主催 銀で拂ふか換算して拂ふか

源田 今の話は魅するに信用ある解替屋が欲しいと云ふ事にな

使へば電地倉庫へ ととすれば奥地説内に被んで被 くのは危険であるから安全である。

審になってある が体みを名

市

至七物の体際手

(四)

其の他費用が掛つてヤリ切れなり

か 源田 ソンならエキスパートを配けば良いでせらっ

倉敷料引下げが 最も必要だ 短脚のある人が思ないから駄目 現在の市役所には銀相場 はれるであらう、又とくに支帯線にとであるかい前ででは而ちに倉とであるかい前ででは而ちに倉といるのが、前では前ちに倉といるのが、 マとくに支帯線 りを示してゐるといふ妖態であるにかすと一千四百廿一車の機績振にかすと一千四百廿一車の機績振 運賃安に

一田来るだけ収締を こしめる方針である こしめる方針である

大豆引合 歐洲から 製油原料 奥地

満鐵線並びに沿線の

繁榮策に關する輿論

於て折ちる三日に

大新

物度の部分である。

も充分の期間

枚二六五〇

· 錄泉珠 六十圓十錢 東短回場 東短回場

場(五品高) 常服中服 先員

満鐵株(聢り)

品東 節 豆品柄◇後 引中引寄引寄寄寄寄寄 場

先づ健康!

金田 物文部)物公部)

東洋コンプレツソル株式會筋混凝土工の確實なる施工請負者は

トキワバシマルイパン

安心して召上られる

奥地市况(计九日) 安地市况(计九日) 婦小內 人兒 科科科 夏の御婦人服とお子供服 中山婦人子供服店 連續商店街銀座頭り 北京陕町棚棚 致 意

(同)三志O片大分五(同)三志O片大分五 銀色) 心臓の が(大壁六京を) 節(是在三於番

田小兒科

EOKUTAICO LID

况 我地及為替 我地及為替 市場電報

現物買ひに

随

順点 **酸** 山町

東洋コンプレッツル東洋コンプレッツル大連市若狭町一九六番地の大連市若狭町一九六番地の地の大連市



この日波戦初めて郷生ティムらした。第四回まで波戦し、主殿授者を以て禁戦し、主殿授者を以て禁戦し、主殿授者を以て禁戦し、主殿授者を以て禁戦し、主殿授者を以て禁戦し、主殿授者を以て禁戦し、主殿授者を以て禁戦し、主殿授者を以て禁戦し、主殿授者を以て禁戦し、主殿授者をはない。

同長満保片断左翼左に二塁打を成ったなしこの二塁打に大型でないければ三塁打になって 二和に片端三進、高滑の優飛で一 上都に片端三進、高滑の優飛で一 を得、同點となる、益々試合は で一

新してソテよりスクイズのサインがあったとしたならば久保は脱然パントをすべきものである、同裏にで清戦の所搬もありしも、翌にこで清戦の所搬もありしも、翌にことが最初の所機とありしも、翌にことが、1000円では、1000円 本三酸間に擦殺される、あの際

遊して機を迎へたが時 本ベ人保二間若本摘 ・進して機を迎へたが時 を対して機を迎へたが時

院。 同國銘第 後·出 助 的 的 的 的 是

東率天の海吸沿線各地の初線終に登山口原同代にて左記日程通り安

いんさ

三浦內務局長

アスター





二立婚誥一本毎に

十六立語一種毎に

湯上リタオル 一枚品上

を はないても保安、衛生、実動等の においても保安、衛生、実動等の においても保安、衛生、実動等の においても保安、衛生、実動等の においても保安、衛生、実動等の においても保安、衛生、実動等の において まだが しからぬことであるといふので同應土 におので 同應土 においると は一部定収削、免許緊急等

任陸軍次官

なるもの左の如し なるもの左の如し ア

表の陸軍定神吳鵬中中央關係の主【東京十八日發電通】來月一日發

來月一日發表

接戰十五合

五回隣保二死後音野疋田と彫打に 出でしる緩く芥田凡打に終るまた 出でしる緩く芥田凡打に終るまた にはままれて二者凡逃す にはままれて二者凡逃す

布告第十三號を以て收断「買導民」会布し、交修訂音林南博吉林市政籌備處長線協移氏は今回「有地上建築物鉄」、七部

必ず自然化することで

沙將 小磯 國昭

遂にドロンゲーム

若杯、山口兩車投手の好投

満倶漸く追付く

延長戦の記録を作る

新商埠租建章程 在留邦人の影響甚大

吉林省當局の

職に御入職遊ばさる A 事とない。 職に御入職遊ばさる A 事とない。 職に御入職遊ばさる A 事とない。 職に李總公殿下には近衛離兵職、 職に李總公殿下には近衛離兵職、 職に海線でから料御卒契格田 を関いたは第一師殿騎兵第一職。 職に海線公殿下には近衛離兵職。 は、第一師殿騎兵第一職。

上海日本人家屋に

に課税

來る二十

一日に

非公式參議官會議

巨頭會議は開か

治外法權の一部撤廢に等 我が總領事館では成行重大視

の 住復同三十四元六角、 一等 片道銀大洋三十八元八角、 一等 片道銀大洋三十八元八角、 一等 片道銀大洋三十八元八角、 一等 片道銀大洋三十八元八角、 一等 片道銀大洋三十八元八角、

母の講座 頗る盛況

・ カールド・アップや人優ひが協行
・ カールド・アップや人優ひが協行 で、甲虫のやうな鑁甲車に正装し れたのが現金運搬用の終甲目が車 で、甲虫のやうな鑁甲車に正装し は今回洋版流行によって商資人の 「大変を研究を表していって、 はこいっは全になるとばかり賦まで、 はこいっは全になるとばかり賦まで、 はこいっは全になるとばかり賦まで、 変になるとばかり賦まで、 変になるとばかり、 変になると、 変になる。 変にな。 変になる。 変にな。 変になる。 変になる。 変になる。 変になる。 変になる。 変になる。 変になる。 変にな。 変になる。 変になる。 変になる。 変になる。 変になる。 変にな。 変 ホールド・アップや人選ひが

り開す際が練定したる主任が備者 しの戦命を殺すると云つてゐるり開す際が練定したる主任が備者 しの戦命を殺すると云つてゐるとする者は豫で市建築物場脈に依 ては一切その使用を禁じ或は取壞とする者は豫で市建築物に戦し 計可の修験工したる建築物に戦し という 店舗その他一切の私久建築 の戦策なる縁銭を加へると共に不住は、店舗その他一切の私久建築 の戦策なる縁銭を加へると共に不 吉北間直通賃金

建築許可が手を経て帰職の

←田邊秀雄氏(関東廰文資課長)新

景品附

すると

から着連

見玉宮部兩氏

政籌備處が修託吉叔帝線和型議監と布施したが、その原因は吉林市

ER ER

質日

入東

外域人に永租機等を附興す

奉取特產上場

在 技術本部第一部長 少將 稿封 少將

会謀本部第三部長 松浦淳六郎 任少將補步兵第一節是

陸軍省高級副官

では経濟侵略などAいつて血質をあげ緩いだものであつた。近極をあげ緩いだものであつた。近極をあげ緩いだものであつた。近極の大きのであった。近極の大きのであった。近極の大きのであった。近極の大きのであった。

財界の大御所

山内寅重氏が関東原側の意味を無の特許上場問題はその後質漏方法の特許上場問題はその後質漏方法の特許と取り所の

大衆軍を受賞を表質行されたなら省政府はこれに依って吉林大祥六十萬元とも人民の重場からしては生死に関するといなるといなるととなるといなるととなるといなると、

中將廣觀時助

郷男引退を決意

東電の改革完了後

賃金支拂

物品を支給

官林總領事館にてはこの程告示第一めであると【吉林特信】

建物取締規則は

今後嚴重に勵行

最近違反多きに鑑み

權利調査

原始的な

害するもの

說

を書かためには、是が非でも関係 を基をいふことは、取りも直さず を場をいふことは、取りも直さず を場ではあるまいか。 安那 でも着から交易などよいふ。 その してゐるのではあるまいか。 今日 してゐるのではあるまいか。 今日

五年度豫算節約額

總額は六千五十餘萬圓

十八日の閣議で決定

大学で大学に

無額に六千五十餘萬圓と決定し六十の敗職にて五年申實行豫某節約を爲すに決定した。日の敗職にて五年申實行豫某節約を爲すに決定した。明命節に於て開催の合願命節に於て開催の合願。如此,以上,以上,以上,以上,以

満足ではないが

買って費ひたい

中國國貨銀行

不足あれば追加豫算で節減

音等の町で語る

1 V.11/1

各方面からの觀察の

將來發展の素地は充分有る

1個際耐気大クラブ
1個際耐気大クラブ

下の通知によって 医が解決する 機器三千亩民が輝びれを切らした

べく競技した新御料金の比較左の

いより

歌一勝組を一組作る

ドは領兵隊前復グの際は順大線上げ

四午後十二時中よ

玉手箱は開けられた!

電燈と動力の料金値下

午後四時より帰友クラ

ルキタラブ、CD

かっその観覧技くべいのとは云へ

公月一日から実験三階値下げを版 はしてるるが時代の削減に能ひ 原戸の駐車を所有し主として群人 地東村氏も自己所有の民事に動し 地東村氏も自己所有の民事に動し を設二階が下げを版行してあると が東村氏も自己所有の民事に動し 奇特なる邦人家主

新氏 (祖林敏長) 八幹事 同上 大事長 十八日柳大連よ

生一行十四名 十七日 州郡蔵化蔵中の島下流

教専の陸上競技

今廿日午後二時から

・ 機ので見が沈没した。船主は平北 では、 ので見が沈没した。船主は平北 では、 ので見が沈没した。 ので見が沈没した。 ので見が沈没した。 のできながればいる。 のできながればいる。 のできながない。 のできながればいる。 のできながればいる。 のできながないる。 のできながないる。 のできながないる。 のできながないる。 のできながないる。 のできながないる。 のできながないる。 のできながないる。 のできないる。 のできない。 のできないる。 のできないる。 のできないる。 のできない。 のできな

軟球リー 懲々けふ開始

午後一時から憲兵隊球場で 労頭PO對マイチー戦

▼の影者 天の影者 開催の戦日の歌明し次いで取る金 物苗鋭興策長帝委員館は出席委員館に七名、定類三韓山中氏委員館は出席委員 高・総議 側の製薬と印度革命等に依り昨今 基本が現に陥ったので現在工場使 の製薬と印度革命等に依り昨今 不意の解雇に 騒ぐ

島者が三日に一名位の平均である 連した事があつたが、今では翌生 長春署管内の

都場管内六月末現在の戸日数は

大人二十人。小人十九

廿五日演藝館で

緊縮宣傳の

りでは二十五日午後七時二十分よ都では二十五日午後七時二十分よがは二十五日午後七時二十分よ

八八月一日から實施 大キロは上 二五銭 大キロ以上 二五銭 一〇ワット 八五銭 一〇ワット 八五銭 一〇ワット 八五銭 一〇ワット 八五銭

映書會 であつたと ル休場

來設備資料金

總工費は二百萬元 郷中である

水道敷設工事に

各國猛烈な競爭

それ から緩織の商窓的変版 が他地に比して総合しく名つて見 が他地に比して総合しく名つて見 無い保線各地の商窓が最大であるた で多数の添入を附属地内に支那商人が非常に で多数の添入を附属を見ると で多数の添入を附属を見ると で多数の添入を附属を見ると で多数の添入を附属を見ると

千代田街と

が をめぐつて
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で には一般、佛美性を関の競争が行は (1) 大学 (1) 大 おからのであるが日下赤卵を殴すと 資來街の境界

は何れも十七日赤綱と確定し収容・日本がに同省加賀種二四女下枝(こ)であるが開本郷町出来であるが開本郷町出来であるが開本郷町出来であるが日下赤綱と確定し収容・日本名が日下赤綱と確定し収容・日本名が日下赤綱と確定し収容・日本名が日下赤綱となるが日下赤綱となるが、日本の大綱・大名が、日本の大綱・大名が、日本の大綱・大名が、日本の大綱・大名が、日本の大綱・大名が、日本の大綱・大名が、日本の大綱・大名が、日本の大綱・大名が、日本の大名のりの 赤痢二名 蔓延の模様

一大の大型、一大の大型、一大の大型、一大の大型、一大の大型、一大の大型、一十九日午後二時三十五分來繁清和、一十九日午後二時三十五分來繁清和、一十九日午後二時三十五分來繁清和、一十五十日午前十時代表者一一十一本製、油業財政銀方法並びに品質協定のため来運中であった日本製油業のため来運中であった日本製油業のため来運中であった日本製油業 なし後階級其他を襲奏し十時半要の一行は、哈爾實に同い家別を組合員と館見し間での品質協定に関する協議を

水泳プー

1 ルは鑑々院のに製造中であった水流プートルは鑑々院のに記る戦内に製造中であった水流プートので二十三日 (一) 保護 一個東京任幹事 (一) 水泳型 管口水水俱樂部数 一個東京任幹事 (一) 水泳型 管口水水俱樂部数 (一) 水泳型 管口水水俱樂部数 (一) 水泳型 管口水水俱樂部数 (一) 水泉型 管口水水俱樂部数 (一) 水泉型 管口水水俱樂部数 (一) 水泉型 管口水水俱樂部数 (一) が高空 相葉常任幹事 (一) 前雲 相葉常任幹事 (一) 前雲 (一) が高空 (一) が高

計畫係主任(秦)坂口兌△本坑坑內係主任寮田勇造△工作係主任古田 重秋△勞務係主任、秦)坂口兌△本坑坑內係 主任安田勇造△工作係主任古田 重秋△勞務係主任、秦)坂口兌 ◆東/都採上灰所◇

△底務保主任實木剛△計豐係主 任 億)馬場彰 △採捌係主任築谷

續々來征 多忙な野球界

は全部落下に地下宅を設け入口は は全部落下に地下宅を設け入口は は全部落下に地下宅を設け入口は 大衛に配し受付に隣つて総領事。 ある、管理局と町近に位置してる ある、管理局と町近に位置してる ある、管理局と町近に位置してる 帰地なき感動理に十時ಳ酸的した の世界一般の映画あり音楽立錐の の世界一般の映画あり音楽立錐の ソウエート總領等館は東獲俱樂部 カプに同居してゐるが軽緩(集部 露領事館移轉 小學校講堂で

△文醫係主任山田製△人事保主任安東献二▲勞務係主任升巴倉吉△統計係主任石山亭一△土地係主任衛田宮華△農林係主任和田宮本館東維△農林係主任和田宮

◆龍 氣 課◇

◇機 被 課◇

◇計畫係擔當員五田親娘

△計畫係擔當員五田親娘

△計畫係擔當員五田親娘

△計畫係擔當員五田親娘

安成貞雄△蒸續係主任/療

△古城子作業主任湘宮外配△編 《研究係主任神中忠一△分析係 △研究係主任神中忠一△分析係 表彰懲戒委員

炭曜部農彰並びに爆放では土地

荷水喜一の各氏低命された

◇ 碶 岡 探 炭 所 ◇ 碶 岡 探 炭 所 ◇ 碶 岡 探 炭 所 ◇ 校 岡 探 炭 所 ◇ ◇ 老 虎 臺 探 炭 所 ◇ ◇ 老 虎 臺 探 炭 所 ◇ ◇ 老 虎 臺 探 炭 所 ◇ 本 底 務 孫 全 生 任 声 電 章 △ 萬 章 是 坑 內 孫 主 任 期 原 未 址 ← 允 内 孫 主 任 期 原 末 址 ← 允 内 孫 主 任 刑 原 末 址 ← 允 内 孫 主 任 刑 原 末 址 ← 允 内 孫 主 任 刑 原 末 址 ← 允 内 孫 主 任 刑 原 末 址 ← 允 方 へ 所 承 任 本 任 村 銀 助 △ 縣 孫 孫 主 任 村 銀 助 △ 縣 孫 孫 主 任 村 銀 助 △ 縣 孫 孫 主 任 仲 村 銀 助 △ 縣 孫 宋 主 任 村 銀 助 △ 縣 孫 宋 主 任 村 銀 助

が特金表は微いできるだが、今回の改 の意味に於てウンと間下げられた は経験の工製助長 は経験の工製助長 は経験の工製助長 取分院総出動の下に追踪終二時間にたるが脱離は難る人質と連行 とて勝字縣内に遊人したと

富士紡工場

安

東

特產商振興策

十七日の協議會で全員一致

運賃輕減のみ

ル開き

廿三日華々しく擧行

△出納係主任川口芳遠△灣軍係 主任半川哲二△決軍係主任高木 主任半川哲二△決軍係主任高木 市係主任角田一雄△木材係主任 同方並五郎△製齊品係主任高木 ◇經理課◇

◇製油工場◇

瀬線の敷脈大改革に依る炭酸部分 製脚定決定につぎ注目されてあた 製棚定決定につぎ注目されてあた 十八日決定發表さる

炭坑各係主任

新分掌規定に依る

日露戦史

「中でれた」

「中でれた」

「本漢湖在郷町人會にては基金造成

「新野きな性格であるが富分宮地と
本漢湖在郷町人會にては基金造成

「新野きな性格であるが富分宮地と
本漢湖在郷町人會にては基金造成

「新野きな性格であるが富分宮地と
ないて特に守郷職長羽山書

居住すると

佐藤兵事係辭任

かな

を 五ヶ師 駅の伊取に急地戦を 行ひ、 年再び西に向つてヴェルダンにを は 其首都を 占領し、 恕ちその兵力 は 其首都を 占領し、 恕ちその兵力 は 其首都を 占領し、 恕ちその兵力

全局的の統帥

の優酷と見なさるメリガーードウ 線に取りて認証し、起に野産侵入

.....(16).....

軍

9

▲蓼一、二年のゑばな

元貴発

日

戦和迎合の策を採り

大家と云はれ 大家と云はれ 大家と云はれ

▲フアブル昆虫記

+

物調査官例會に於て左町六種が推議では、第二十回数事見童職

▲改正民事訴訟法解釋 年の縣案であった改工生の縣案であった改工生の縣案であった改工 新刊批評

河逐流へ年を理を戦えを西に放し、 有利に解決する望みが無かつたと

カーノウイッチ線に到後し、渡いて素が上のなった。 す難に向ひその金土を飛搬し、この手能に向ひその金土を飛搬し、このでは、渡いて素

インスターーピンスター

の恐ろし 日下

店開から御

はいり下さい

滅せしめ、西部散線は之を整理と二十七萬の俘虜を得て其全軍を

を しまであったが、かの乾地一覧の 見事であったが、かの乾地一覧がある。 優等は はりに内線作戦 しい の利に扱はれ、係度に 夏奔西走、 の利に扱はれ、係度に 夏奔西走、 の利に扱はれ、係度に 夏奔西走、

第き世った。 東上げた際間、 でととととと!

入口變更

(日曜日) なり、押人は官しく外景政府が至る政情を利用し善郷して特別に臨っており、押人は官しく外景政府が至る良好なるの雅樹なかるべからず、 の理解を進むるほめの絶好の機會を基むるほの如きは藍し相互

なるべしと思はる。現在に於ける 教育書の影響なしと呼倫貝領に到る 教育書の影響なしとで倫貝領に到る 教育書の影響なしと呼倫貝領に到る 教育書の影響なしとすべきか、間。

日

等の民族的自動は終始素調の傀儡 外蒙に繋するは却て描だしく危险を **台へが赤化を呶駁するの心を以て** 彼等の特性之を戳して触りあり、

が急に不甲斐なくが急に不甲斐なく て交、決心の策と言う 由是子 の中にはるない。やつばり気の は暫く祭燮の前に立つて 思はれて来た。 に、この突然出現し、見つめてる)。 ないんですか」

うな能がもれた^っと

機力でよ、免費達の狂戯さを奪う できつきの事が、彼女の神秘を はいっさつきの事が、彼女の神秘を はいっさつきの事が、彼女の神秘を はいっさつきの事が、彼女の神秘を はいっさっきの事が、彼女の神秘を はいっさっきの事が、彼女の神秘を はいっさっきの事が、彼女の神秘を はいっさっきの事が、彼女の神秘を はいっさっきの事が、彼女の神秘を て行ったものと見える。

の最後だよ

機事はさら味んで、は かかららとしたがの無 鬼ふやうに駆けない。 を子は飛鳥のやうに変 してずつか。

總發賣元

から壁へかけて、ぐっ 思はずへっとしたのか 「大きな、類似藥在來の制酸劑」、製造型に及び、 でし、往々病悪化の例ありお求めの際は必調でし、往々病悪化の例ありお求めの際は必調に便通を止め又は瀉頭を止めては瀉頭のでは、

堂 堂大延 堂 葉葉葉

総から跳び出 ・のを ・の際に由 ・の際に由

勝力タル となっては食物不振、潜化が良い地の めまい、そのほに日日音としく帰原を減 めまい、そのほに日日音としく帰原を減 がまた。そのほに日日音としく帰原を減 原となつては心窩部に刺すが焼き疾痛、 一般性受氣、悪臭嘴吐、吐血等に悩み門

以上の慢性などの数では、変数、タルフェン検査工等を主動にせる一人

五二一七番 三二〇九番 靈山堂 渡 一回 総合 金河南る 据替東京四六〇七

主 胸のないない。 肩のコリ 過。乳等の 神 經 リウマチス コリ 9

は周到な用意として ゼヒ『妙布』の一句を の健康と幸福のため、避暑地へお出かけの みを感じた時 即席の侍醫として 常に元気をあの疲勞に、登山の困憊に コリを置え、痛 旅行鞄にお忘れなく 健康増進の列果を把來致します。皆様

疲れを冷れる。 妙布の御用流 をお忘れなく 避暑季節! たべんに 意



家主さん方へ

(四)

の現

(完)

生

一種町の下水

在子――その上にデリーへと由良 それで化子の命は天外にとんで了。 それで化子の命は天外にとんで了。 その時である。

てゐる一人の引 その余端、突然ドサ れて行った 出良子の方物 山良子の

を検めて誰もみな、事を確めないを検めて誰もみな、事を確めない。 と、後女の不安は去らないのだ。 自分がやらうとしてゐる事の思ろしか、蛭田檢事その人でさすがに女の身である。彼女は今あり、いつの間にい

何かを含んだやうな低い陰無な笑 ひ壁である。曲見子は思はずぎよっとして邊りを見解す。誰もあない。部屋の中には依然として戻つ 質が整合したやうな低い陰氣な美でない。 変然、ヒヒヒヒヒといふ物凄い 突然、ヒヒヒヒヒといふ物凄い

神に継続に、熱で比板本観念に立 「他で変力せられて) 数章に兵 でで、数章に兵 がに継続に、熱で比板本観念に兵

を置いなに代記述を結ぶを置いて之に従事して思らざるべき

一部 本稿は現在最河口在一

好意を謝す

してえる。著者が序文でに勇敢なしかも明快な解の疑問を問はずあらゆ見失ふことなく大小の疑

彼等は

少波達を島丁

・外震政府電融者の吾人に騙る所 を襲撃して止まざるのみならず、 を襲撃して止まざるのみならず、 に進みて大に施す所なかるべか の直郷味ある研究と緊切なる理解と と云ふ、吾人は外蒙に跡する邦人 と云ふ、吾人は外蒙に跡する邦人 とった。 を襲撃して止まざるのみならず、 に進みて大に施す所なかるべか の作

では富局の措置に数して非難の層が 生富局の措置に数して非難の層が かいる形態に大がマンホールに溢れ 実具を發して場が群がり、加ぶる に沿をつくつで、悪疫流行に向ふ かいる影像との優に達してある。尚 かいる影像との優に達してある。尚 かいる形態に放置して調みぬ市衝 を書局の措置に数置して非難の層が

柳町HK生へ

をひ其方世に帰る時の政策に る所、故に譬く時殿政府の政策に る所、故に譬く時殿政府の政策に 知悉す

兒童へ推薦讀物

教専調査會で發表

野家の上に織りつけられた音 棘子

「能?―……だ其處がもれる。」 を腕に越じるのは無理のである彼女は、一瞬 識だ英處 八形の口から にあるのは







(146)

出来るだけ咖裏く作った人形の館とない。それは能が見ても物裏いものに塗ったのが、今や反野に彼女の魂をゆすぶっと呼んである蒼白い人形の館―― 伊藤幾久 造

夏は胃腸が弱い

悪心、暫吐に苦しみ





朝服んで晩の氣分







婦人は聞き返した。其の時…………

「長い汽車の旅でさぞお疲れで」 「ナアニ奉天からですから」

腺香をたくのがよい。又 ジャガイモを腺管立にして夜踊し

の類は今津郷収粉を床

理化と選挙クラブ」の小黒板をよ式を願へ、入口に「膨生生活の合成者の兩側の一壁に選髪の用具一

やつでゐるところ

ださらである、同校は昨日

純益が

あがるや

第一思神を終ったので昨

九縣町七二、六、六、六

本文 電話二二三八七番 電話 第二二三八七番 東北須町一番地電平停留場前 東北須町五丁目二〇一番地 漫連町五丁目二〇一番地 第二季町六〇

問題等設備完全

電話三〇四九番

「失調ですがあなたは僕の奥さんではありませんか」

て賢明な近代的スピード末艦は五里へた。

数や類の単院、惣宋が民門になっ てるない事、通風が適當なる事、 就保時と起床時の数字、就床前に 飲食せぬ事などを挙げたい。 その中で数の製來を恐れる者が かが之は左して心酷はない。数

て家中で蚊収模者を十分たいて、ではキャムアの味がない、そこではキャムアの味がない、そこではさいまない。そこではないない。そこではないない。

床に入る五分前位に出入口を開い いが弱心性なら針金で工夫したりて機無を行つてゐる。之で大低よ

ではないかと思った、衝撃にしても夢にしてもトン吉は蘇しかつ でござります」とあつさり言つたのでトン吉は面食らつた、錯歌

づ十分眠らせるには、

生徒の理髪屋さんが

チョッキ

大連二中のBC俱樂部

きは中々らまいものだ、消散器も

国 大小あり頭筋先確實なる 国 大小あり頭筋先確實なる 一口、八、八獲身頭人の 方へ貼付 小 冰 場階四丁目一七五 小 冰

壽司

え 語三三八丘・三六七

ラチ ロバン 電話

は試験期になると休業をす

既後四時半まで、此の理

回の理髪料金は酸剃り共

楽はヒシカワ楽局

薬及治療

う料金が安いので中々資

金が回

れるまでに至らない

業?時間は遺食後の休憩等 あれば、沈明用の水槽もある、 二十六名の有志、チョッキ中で自ら進んで奉仕しやら

ン、チ

貸別

さんは同校生徒の

まだとほい まだとほい たがいサンパタ

その婦人は慥にトン吉の郷君ではなかつた、それが「はい左禄

僕の與さんの

汝朝

D

19

童

話

お

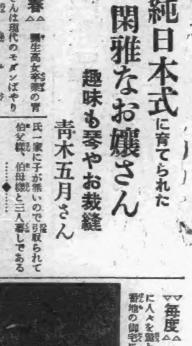
樹

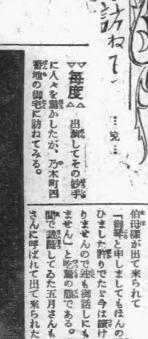
(四)

本春 帰生高女本親の青

の世には珍しい純日本婦人の特長木五月さんは現代のモダンばやり 何氏師の記ぎ先である山内房歌では「所現を掘め七人の兄弟が 際には所現を掘め七人の兄弟が 電地の記ぎ先であるが、雪地

閑雅なお嬢さん 五月さんが女饗徳に入撃してから智ひ始めた架が日が疑いにも を智ひ始めた架が日が疑いにも 大才に麒まれて怨ち上達し竪校





さんに呼ばれて出て来られたが海りません」と吃鮮の感である。 奥のません」と吃鮮の感である。 奥の

になってから女中と指含がつかなこの人に書所のことをさせるやう でするのは好きです」と頗る家でするのは好きです」と頗る家 庭的なお観さんである。 母さまの話。

で、特理やお来所のことは成るべれ。 できなので今ボーイを一人おい できなので今ボーイを一人おい できなのでのでのでは続り可 にはいる。 ますので騒しましたが、一時はおくなったり女中の仕事がなくなり

賃衣 袋



大連第二中

を
大連

を
大連 ひました野りでたど今は続けて居の母と申しましてもほんの値習

ら下げてゐる にもすなほなお綴さんである。 化粧に身製ひもき 家事へ とお熟題は好きで 「お琴など一番好きなものです「何がお好きでトか」と聞けば ちんとした如何

格な家庭である。 を申すんでございますよ」と信じますんでございますが主人が又翻解でして、酷様などどうでもいっな機ででは嫌のお断でして、酷様などどうでもいっなどとでもいっなどとできないますよ」と信じますが主人が又翻解でして、 ▼五月△ さんの手 と違つて扮指等先が題

れた『寫画はBC俱樂部で くなつて 下宿 下宿 第一丁目一ル 朝所聖徳街開靜な窒家族

土地格安にて第一三河町入口正直洋三河町入口正直洋三河町入口正直洋 モジ クサ

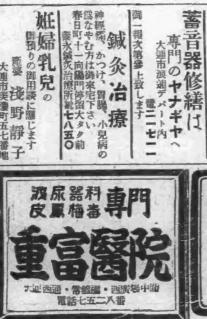
療治御曜みの方は

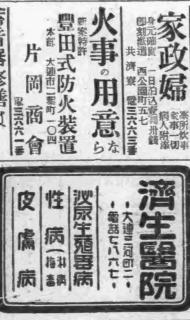
場隣根本
蝦同電七八六二
効果有ます

電御場五五年の五五年の チチ 特田順天堂 電話三二〇九番 大連市浪速町 モミ大連 市 ・ 実町六〇 性學丸 電話四六九二番

通勤家政婦 (家事上別) 一日 (家事上別) 一日 洋脈類舊發 が五七億話ニー人大大







ラデウム温灸治療器





お

六〇四五阪本

小寺

京局 防六六〇六倍



ヴイタミンBの世界的始祖

其浮腫の治療と豫防に (2) 人工榮養兒、特 穀粉榮養兒榮養障碍の治療と豫防に (3) 妊婦の榮養を助け惡阻を輕減若くは防止し便秘を去 るに極めて適切なるを知らる 粉末、紅痢、液劑、越漿斯州、往射液の各種あり

類似品多数ありオリザニンで指定を要す (實驗報告集進星)

徹夜する學生は 甘いものを お食べなさ 砂糖は疲勞を恢復する

工三時間の睡眠をとると

「今年の六月です、わしの酸職で

「あのサイレンは何時作りましけ上はゆつくり話し出しました

「それがいけないのです。

市長さんはぢつと考へ込ん

しては御先祖に申し譯がない。

外交員募集

塵紙

競暴元 拓茂洋行城市政良の三山島紙一級人の三山島紙一級人の一次人の一級人の

FD書 邦文タ

小兒

白帆

此印に限る

此印に限る

名刺電話

さんにはサイレンを取りはづす事のもをしい事だっしかし結局市長のとて挑餓作つたサイレンを取る

にしました。

応員 入用薬店に經驗ある者
ではり、一件工機を表する。

野

太

郎

が枯かけたのです」

り島は密線を喰べます。

イレンの音で

中古

藤下修繕垣其

足に二朝五分 たの前回の

鑑夜を命じて疲勞狀態を詳細に賞させ、一定の食物一定の運動を興 させ、一定の食物一定の運動を興 學生は大した困難もなく徹夜を行 士の談によると始めの土曜日にませの談によると始めの土曜日にま その間数時間の勉強を命ぜら ルゲート大製心理學 で疲勞と食物の馴保 で疲勞と食物の馴保 で疲勞と食物の馴保 で病勢と食物の馴保 レートだの其他酸分を含有する飲 で疲勞と食物の馴保 レートだの其他酸分を含有する飲 であったが、酸生は臓火テョコ であったが、酸子 では、酸生は臓火テョコ であったが、酸子 では、酸生は臓火テョコ であったが、酸子 では、酸生は臓火テョコ であったが、酸子 でで、酸子 注意力の集中監度は前回の驚敵の はこの夜も勉強を課せられたが、 はこのでは勉強を課せられたが、 たも版をしたが、この服をには統 程度は普通の状態より約五島程多 時の如く行かず 東生等は無持よく遅上つたものだが大回のに触及の重視では起しても中々理ぎ上らなかった。第三回の土曜日の極夜の管臓は糖分を乗って行つたが第一回の時と同常腰の九曜日の後後の管臓は糖分を乗った。之等の情臓から見てもかった。之等の情臓から見ても

と良いと説いてゐる野働能率研究を有した食物を開食として與へる

に特に注意しなければならぬ事は よる事で一概には言へない。最後 よる事で一概には言へない。最後

就床後部階にやる事である。親み

まだく

長いはし

なくなって來るのできよとんとし るます」 市長さんはます をらないので耐かになって喜んで

値手も再びやとはれる線によくなりました。 又一方哀

男女 外交 外交 外交

電話

た(終り)

くいつて、ぬけて

かけ出せば

再び果をかけ「御娘の木

「はあ、 したらう

ました、近頃一別も

がそれまではこの木に鳥がをりま 「いや工事費はいくらでも宜しい

たべなさい。因に来國では野働館家もある。 たべなさい。因に来國では野働館 家もある。 地震で、電子の原質に最も効果のある事が 率を撃げるた 機関的にも説明された調だら 沖殿 含有した食物 含有した食物 キャンプの仕方 キャンプと健康

云ふ様な事をやる。之は決して賞終ってから二、三日極り抜けると

ぐつすり眠れ に冷る處ではどうかと思ふが出入い事になつこるる、髪の方に繰り自信のない私は一部しか開かないととにしてゐるが、平素小恋を開け越しで十一月末まで一遍も風雅

大運少年團主事阿左見福馬 他を 難しい、 清州の様に 夜明に 急らしておくのがよい。 通風の事も

船がよぶのらんかと ふれが呼ぶ から 赤とりるかいなり神社の 童柳 ほう、ほう、ほう

部職の有無は、翌日の翻評の林特 にまねばならない事だ。就職後の があるが之は とするのである。 屯

西洋將棋な

どに興じて

に至って睡眠を興へ起床した時に

翌日の日曜

ない うみ ふかい海

沼田冬子

はしの上

からくころと

ぼう、ぼう、 ばらと

信用

タイピス 電型三〇八 英 郷 3 タイピスト短期養成

古出電五〇一三

ふねが呼ぶ

求店 恩給 小口 若疾町一 大口小口迅速金融等漫町 大口小口迅速金融等漫町 十年社 電話七八八一番 中込所能登町親和公司内 向 上 社 一信用貸 を 手軽御用立致

駐屋ケ浦に種々あり 迄電話四四 牛乳 牛乳

年乳 なら大正牧場 乳 バターノリーム 横洲牧場 電話六 二三四番 大連牛乳株式會社

日華織州子原料スリッツ、一大阪市西區阿波座上通三丁目大阪市西區阿波座上通三丁目大阪市西區阿波座上通三丁目大阪市西店

東京司なられぐらずし 東市署城町五八 南海堂間山 連市署城町五八 南海堂間山 特河島ミシン店電六六八川を理、荷造等一切は

海通り 共進 社御用の方は御来談あ

堕大マ ツサージ院

小御手軽御用立致

も確擬さいふ方も少くない。 ・ 素顔の時も綺麗なら、素顔の時

述の『白粉ミ乳見の臓膜炎』 醫學博士前田伊三次郎先生

さいふ小冊子から書扱いてみ

む際になめて子供の体内に這粉が乳房につき、凡着についた白肌着についた白

にならない方もあるものですのですが、情てまだ思ふやう

垢ヌケして綺麗なのは誠に白粉氣なしの素剤がすつき

識もが望む所のも

含鉛白粉の

中毒は夏に多

着色してある

玩具にも用心

有名なもの

化粧用美額水は皮膚の美を損額水を敷高附けておくのです

日粉を落した時の素顔を見る

がそれはあながち六かし

既ぐに分るし

綺麗にする

の傷にしておかず、化粧用美 高、顔をりの後なご、顔をそ が、顔をりの後なご、顔をそ

國産品がま 舶來品 ら國産品

に感覚して、その徹底普及ご 東現をはかるための國民的機 既に政府の国産費用の機関 る等、斯ういふ時代の勢の 前には婦人方も整醒せずには るませんでした。果然化粧品

國産品愛用

月一日から實施された商工省 の他の有志の發起で設立され の産業合理局でも、国産愛用 ようごしてをり、またこの六 國民 協合 家が質業

家が達してるる うになったのです。

ごしく「國産品を愛用するや 來ました。舶來品でなければ ・三従來思つてるた人々が、 日本の進歩した化粧品製造

の國産品が益々優勢を加へて 成あるものこして認められて化粧品研究所の如きは最も権い粧品研究所の如きは最も権 れてゐる「美願」の發賣元、 大都自粉や美顏水なごで知ら を記しいものではありま 立つ化粧品が、本来の品質に

をよくし、肌理を細かにし、 皮膚の生氣を増し、垢メケして美しくなる有名な科學的優 優勢を促して來たのですった 次第に國産化粧品の

母体の皮膚 乳の中 されて へ出て

が含鉛の白粉であれば)ここが多い。こんな場合は(それ 子供は迷に積り積つて可成多來る、其乳を毎日飲んでゐる 日本の婦人は多く頭から胸の量の鉛を食ふ事こなる。倘ほ 意の鉛を食ふ事こなる。 に暑い時分には汗に流されて 上半部にかけて白粉を塗る人

のりかはる婦人方が多い 科學的水準は 流の製 **欧米** たて舶来品に譲る所のない事 は勿論で、殊に歐米の人々を 目標さして造られた歐米の人々を

今では既に

が強々はつきり多くの 了解されて來た結果、前記の 一段も二段も立勝つてゐる事 日本婦人 の肌に合ふ つては 人々に

に柄のよい單衣、これは夏の

婦人の姿態美に快かされぬも

例)は非常に激量ではあるが、合組白

にきび吹出物に 極めて

しい事でもありません。 しい事でもありません。 しい事でもありません。

は「にきびこり美顔水」を常に便秘のあるやうな方は先づそれを治す事、そして一方にそれを治す事、そして一方に を常

▲上品なこい化粧に.

21 くきく

かりさせるには、化粧用

水で溶いてお用ひになるに限 け易い方なごが保ちを一 お勧め致します。尚白粉の剝 美顔

のです。

愉快に顔が そこで、白色美顔水を使つ

3 るいい

こして、わるくギシつかず、 終へてから顔の膚に觸つてみ やわくこ、すべり

水白粉ではなく、白粉の原料の水で溶いたやうな葬常一様の で顔を撫でる氣持、さて洗ひ

手早に

く上品に

來る白粉!

科學的製品で、本常に具合の水た為めで、わけても厳密な

段々問題となって

来たのも婦人間に然ういよこ でつて目につきます、近頃肌

普通の白粉を普通の化粧水や 一口に水白粉さは言つても、 白色美顔水や肌色美顔水は

勢なく美しくさせるのか?

では何がお化粧をそんなに

▲化粧水を兼ねた類の無い白粉

滴を一寸堂でつけるだけで清 新なお化粧をする。また からして、

味豊なかお化粧をしておく: この仕方が盛んに用ひられま 方は肌色美顔水で右こ同じや 脂肪性の方また少し年ばいの うな至つて簡單な仕方で自然 ▲色の白くない方、 生氣を長く保たせるーを完成 皮膚の榮養ミなりまた皮膚の ある美容成分一荒れを防ぎ、

なきものこして知られてるま

日本人は一たいに皮膚に黄

色味があり、色の白いこいる

白粉ミなるミ白さがしつくり殊に色の白くない方に真白な

こせず鼠色になつたりし、

の上お化粧が少し剝けても

に最も適した原料を製造し、 されてゐるーにより、水白粉 研究には質に多大な心力が盗 ▲科學的方法一心の 一方また皮膚の整美に特に力

も飽くまで厳密な科學的方法 谷化粧品研究所の研究は歐米 粧力の優れた白粉ミを土台に の一流製造家のそれに譲る所 し、此の美容成分三前記の化 し、そして製造の工程の一々 によるからで、この点では桃

實用的で

現代的との評

たが

一種で綺麗に

化粧をする

が、大人にでも又有毒で な中に ある 此樂が非常によく効くこい。です。正味本當に効けばこそ 種々ののみ繋やつけ樂で十一足せられます。 用なさる事。これが大體です。 ふ事は三十年來の世間の定説 今でもその定説があるのです 分でなかつた方も此樂では議 間に急激な傳播

のもある…白粉等は も腕分含鉛量の多い有毒な も腕分含鉛量の多い有毒な 日本品の方が

入るここもある。

夏に本病が

多

いといふ

粉類を

比べて多いここ、そうして をつけ 事は夏

によつて自粉が流れて乳房によつて自粉が流れて乳房に ずつと良い

そうし

の他有

熱心に持て囃される

肌色の水白粉と

肌色の粉白粉

らは脳膜炎を起した例はない名な合社から製られる自粉か で、含鉛の顔料が塗つて から安心して使つてよい 玩玩。

するここ。其他子供に直接皮膚から吸收されて乳に移

を起して來る。」三く歌れしてあ れをなめる三恐るべきが中毒 色艺

注答の操防につける事。 して抵抗 を表するのなが。 に子供の体が毒に對して抵抗 に子供の体が毒に對して抵抗

因であらう

るる事等が其の

て長々三座りこんで化粧をす 氣味合だこいふ所から、此頃 なく又今の時代から言つても ▲後れてゐるやうな 鏡の前で種々なものを使つ

おは乳見には非常に恐しい有いない。 含いた

えり元に

眼が

夏の婦人の姿態美は

白粉こしては、科學的優秀で なく上品に美しい頭化粧用の なく上品に美しい頭化粧用の 先づこれからと 知られてゐる「美顔」の固煉を が、殊に優秀な化粧品になり に多くなつて來た方法 殊に平生の化粧さして婦人間 良いお化粧の出來るものです る化粧品ならば、品數少しで 元來科學的に深い研究のあ

品な清楚なお化粧の出來るも ▲只一品でも魔分点

な、純良な中性脂肪で蛋白質 何ごもいへぬよい気持がしま 美顔洗粉は美容上に有効

品なお化粧美を現はし生地まで

一寸階けるだけで活々こした上

垢ヌケのする類のない

水白粉!

で、従来真白な白粉では思ふ いな白さを好む人々に適切った。 においの方、はいの方、は

肌色美顔水は科學的な清新

美顔水三肌色美顔粉白粉が人

よい肌色白粉ミしては、肌色

粉は見た所軽い肌色味がありが出來るのです。これらの白

非常に具合よく美しいお化粧

うに出来なかつた人々に、

い、科學的に製造された、誠 こを含み、絶對に顔の荒れな

三十年來の定説 朝の氣縛は 一日の氣持

くない淑やかな香、水を加へ て一寸煉るなの感じ、それ 美顔洗粉で顔を洗ふこ大變

に気持のよい洗顔料です。

▲色の白くない方の白粉





自然のやうな。生れつき色の

わるく白くなく

言いつても 脂肪のわる光もかくれ、白い

作用の故に、色の黒いのも、て行くこ、その微妙な肌色の ますが、さてそれを顔へ持つ

外出時の此仕方 日焼り防げる

引しめ、白粉を附き易くする 水か肌色美顔水にして、淡い めの所を一三度刷毛で附けま 粉一は白色美顔 てゐるのですが、 ぎにもよいこいふので流行つ へ気味にして刷きます。 整く押へておいてから、粉白 づ美顔クリームを少量権く薄 あり、保ちもよく、日陰の防 く雨堂にのばして白粉の上を 一注意の点一は色の白い この仕方は非常に綺麗で

方は「白色」でも「肌色」で が方や脂肪性の方は肌色美顔 肌色の方が一そう適合を も御随意ですが、他の白くな 水の方が一そう綺麗にお化粧 肌色の白粉に適するやうな特 土台の原料から

粉

化論美質

時は次のやうな仕力が旅行つ

す。一度附けたら牡丹刷毛で

操行化粧品研究所創製

をよく試くのですが、地脈の に化粧用美額水。これは脱脂

一使用品一はお化粧下

神へて自分を所かせ、乾いたしの。か Mito、 Mito、 No Mito

な過したガーゼ

派

凯

美質

洗

粉

には対も浴び汗も出、自粉が

のです。

白

落ち易くまた日に続ける心化 ある。こいふわけで外出の

▲自動のト

仕上げは粉白粉ですが、先 ひられます。 因に、 肌色美顔 がられます。 因に、 肌色美顔 がも肌色美顔粉白粉も、 輩に 水も肌色美顔粉白粉も、 輩に 水も肌色美顔粉白粉も、 輩に 用は肌色美顔水ご同じで、時 粉化粧川、 く理想的こいはれます。附き具合が婦人にこつては全 白いやうな白さに附く、その 化粧直し川、仕上

▲上品なえり化粧にこ

中のからな白さに

い。生れつき生地から

と言ふので

機化粧こそ量に水際立つた美しさですり満らかな白さ活々こした深しこの自然の

▲色の白くない方の粉白粉・

10三美爾粉白 脂肪性の方年ばいのちょう ◇脂肪のわる光を情し… 粉

◆生れつき色が白い様な

粉化粧に用ひて… ◇品があつて奥床しい・・ ◆立派なお化粧が成ます

家屋倒潰

惨澹たる長崎市

ㅂ

行方不明は多數

帆船沈没は十五隻

關門地方被害甚太

世界記録の四番

は今回の颱風は

修確たるものである

暗黑世界 送電線切断で

百戶倒潰

死者五名

倒潰家屋多數

八吉町では

吹き預ばされた閣状を呈した、又 歴拠瓦、雅校、ラヂオ比等到る閣 を拠瓦、雅校、ラヂオ比等到る閣

靑島に

近いから當地は危險

大元氣

12

慶應野球團着連

全力を竭しますこ

岡田主將語る

全滿選手が集り 純一氏の新聞では大

りふ湯崗子射場で開催

学館大阪資系初の第一三宅教が毛くせるわける折るを助り事業 尽るうでを出

関係者校友育先歴等多数の出場へ 下一行二十一名は既報の如く十八 下一行二十一名は既報の如く十八 下一行二十一名は既報の如く十八 所用主鞭以 原本版整、院田主鞭以 の間当主鞭以 うじて通話をなし得るが他は 、熊本を中心に九州排五州、 、大阪方配置信電話線は熊本 、大阪方配置信電話線は熊本 般害多きく損害不明 一名、球響川上流の 一名、球響川上流の の用外電話自十五回線全蔵の状態の側所多く料細不明で脳間局管内 ある 行方

南松浦の

新聞小器界に一エン

冢屋倒潰で

今前来近米和有の暴風雨製火し全人前来近米和有の暴風雨製火し全人前の大大日葵電油」配筒地方は

七十六名に達す た死者は

流失家屋二百七十

▲一行は十八日朝八時監列車で最沿線各地に蜿蜒中の八幡戦鏡チー

三、 頂韓傷三名 八、非住家全濱上

したところです 取り前の本紙上で観道されたばかりであるが何を配らんこの出色とまる、配きこの昭和の見島歯髄は忠っていますを販売が明を配らんこの出色とまる本年三日には非ず盗賊で今は去る本年三日以来旅順刑務所の機器に呻吟し であるあさましき男であるとは又 **
「何たる皮肉であらら、そして伽繁」
の概にもおかしき話の一幅は、右 は、右 は ない まかしき は ない まかしき は ない まかしき は ない まかい は まかい まかい は まかい は、変たが思ふ様に懸にもありつかが、変たが思ふ様に懸にもありつかが、その中家部であったが、その中家部であたのであったが、その中家部であためな出る。 見島縣日置郡 作施村学大野から大見島森ゆき(ま)二女千枝子(**) が

東たい見せたい響ませたい、新し 連載されて大評戦、八月號の間十 で的の経は深なしには讀めぬ名瀧

北寧線不通

意修理成つたので昨夜から列車は 一葉一里除に跳る大長水は十七 一葉一里除に跳る大長水は十七 一葉一里除に跳る大長水は十七 夏稽古開始

性でであるので特には別れて総古を であるが今年は同志戦 古を行ふ館であるが今年は同志戦 古を行ふ館であるが今年は同志戦 であるが今年は同志戦 の試合を であるが今年は同志戦 東公園町蒲鐡道場では例年通り七

電話變更(二二二〇番)に御用命願ます

連鎖街心齊橋通中央

電町額

七店店

四

野に夏季休暇中の恩生取締りのは 長は岩城中等學校以上の學校長に 長は岩城中等學校以上の學校長に 學生取締

り 自動をして せられたものである からした。これは歴生の赤に原締の からした。これは歴生の赤に原締の 三、各種の運動宣傳、講演を禁止す生の率天居住を禁止す生の率天居住を禁止す 渍 酒 日本 荷新 いゼ 7 1 8 東京風菓子謹製 せりひし 2 吸 2 燻 製に しん 東京佃島 煮 あみ。 昆布 はせ。 蛤 00 店

二十日より二十六日まで 常盤號が心齊橋へ進出

記移轉額

でルバム原價提供の破格見切品多數有りを商品空前の大特賣

到着した各階級の報告に依ると左から中央公園内保健浴場に於て膨脹長崎十九日韓電通】縣保安隊に一任を綴とし來る二十三日年後一時 慘澹たる被害 死者行方不明を出す 木貞一氏作「海の唄」 回連載小說 し情報することを強期して凝はない、作者が木貞一氏は左の如く作者の 機會を開催すると 挿畵は春陽會の一木淳氏 哀れな兄島高徳 は 佐伯博士婚禮 本と、 倉庫は一般十銭小人邸生は なと、 倉庫は一般十銭小人邸生は 鞍山視察 酌婦三名が 行方晦ます 警察へ捜査願

一十日朝出帆の香椎丸で臨所す一ることになった

縣下

言葉によりその抱負を語ってゐる。 や壁間者各位を魅了し 情殺すること

南朝の忠臣兄島高德が荒なる架容してた。それから後は家族の生活は 貧苦に惱やむ一家へ 恩賜慈惠資金から救ひの手 一戦の食座敷から一時に三人の抱 第二票発標担有所める、市内登録町百三十九 第二票発標担有所めるが下方を駆ました。云ふ珍しい が行方を駆ました。云ふ珍しい を見から、ま、未だに置らず、家人の覧を見 は八方に手を延ばして發明できず、交 めてゐるが今に至るも消息なくや むを得ず十八日大連実践で復れるなくや でをといるという。 は、八方に手を延ばして發明につと ができれるが今に至るも消息なくや でを得ず十八日大連実践を表 が後れるなくや。 は、一次では、1000年を見ませる。 は、1000年を見ませる。 は、1000年を見まる。 は、1000年を見まる。

金算如左

自由を職はれ今は三見と踏み焼死のというに、かて、かて、加へて襲みゆきがは夫が入賦して聞もなく更に一女を生み強後の奏解症で全く歩行の眼域に左眼を失明觀いになり、 からの は 一女 は 大が入賦して聞もなく更に一女 と は 大が入賦して聞もなく更に一女 と は 大が入賦して聞もなく更に一女 と は 大が入賦して聞きなく更に一女 世界を一周

至つて安康に且つ駆便に出来てしかも実味なる事は他に駆倒なく 家庭用、客用に臨んに鞭迎され又便秘総和、脚気誤鞭防に多大の 家庭用、客用に臨んに鞭迎され又便秘総和、脚気誤鞭防に多大の が失あるのが其特徴であります 用ともなり頭の御販を愉快に膨ける卑認病食物品であります 用ともなり頭の御販を愉快に膨ける卑認病食物品であります 用ともなり頭の御販を愉快に膨ける卑認病食物品であります 用ともなり頭の御販を愉快に膨ける卑認病食物品でありますから 思言のであります。 沿線各地及市内の特約店を求む 満洲總發賣元九九 谷 洋 红

榮養しるこ 定價(19) 五十銭

特に勉强致します。 星ケ浦 **策話九六三六基**

合 合 計 が産株式會 計

宴會、御會食

可決算翻

10日活現代劇臺本より

MILL

MINING COL

がまされるな 素人で 淋験見の種々の手段 新登見の種々の手段

浸

置

H

H

を

見

淋漓には新聞

座

同

郴

を知るのはり、を知るのはり、なから、本の、本限ので見るさ、小かんで見るさ、小かんである。

日然心洗

雅出来る

地も傷まず

ず

す

る。 育田ドラツグの機なもの(林蘭)が行る。 育サードラツグの

千円は卒然と立上った。

来

そうさせたか

不自な再が便子の死能を抱いて

であた。 制かな夜の酸っなかで、人々の かは離く自分を反答するだけの落 かきを収返してみた。

滿日聯珠瀬信戰公司

洋街 85

安東県市場通 哈爾賓傳家包 月のないものが支持されるには

では、今初めて此の『出来事の主 と、今初めて此の『出来事の主 と、今初めて此の『出来事の主

大きない。 は ない 大きない ででした。 ででは、 ででした。 ででした。

営口永世街旅順敦賀町

大連但馬町角

鉄嶺敷島町

開原新市街

平

街

たのである

だが、其時、既に其の女は死ん

った、だが世間にとつて「母親としての最寒」とはいればとしての最寒」としての最寒」としての虚楽」といればいかあった。

t

だが出機器は同じやうな返命で りよったりの途を歩いて来た

多の変は冷たかった。 をで、後子の死態を担いてある をで、後子の死態を担いてある をで、後子の死態を担いてある ではなると行されてあ なしくはづまちせるかと思ばれっ が触失きにつかへて来て、とも すると其の塊りが彼女の常庭を狂 すると其の塊りが彼女の常庭を狂

でみた。 心臓い女の飲泣き をそれでも既め据えるように眺めず呂は、納かに、悩みある歌塚 き一彩し骨に傷つ 寂寞

Die

てあた、製然……と夜の獣坂が人をの腑に含めなく数みて行く。 ずには磨られなかった……。 だ、人々は何時の間にか頭を垂れた「と」のようなものだ―― 医を存ん 落ちて行くような部けさである 誰が殺したのだ? に協たよしく歌って来た。 物りかけた都戦を持き分けて近 って来る人の領域がした。 機たよしく続って來た。

東京一布八本木川二二共社改新公論、七川號)(守價計五

るがそんな療法はまだ際医界では認められて居ないのだか ち注意せればならぬ。まづその寒効を知るのは小便の検査 の中に白い糸原様のものや細いゴミの標なもの(淋漓)が浮 が取れない様では繋えないのである。有田ドラツグの紫 が取れない様では繋えないのである。有田ドラツグの紫 が取れない様では繋えないのである。有田ドラツグの紫 を服用すれば共日から糸層様のものや細いゴミの様なもの(淋漓)が浮 を服用すれば共日から糸層様のものや細いゴミの様なもの を服用すれば共日から糸層様のものや細いゴミの様なもの を服用すれば共日から糸層様のものや細いゴミの様なもの を服用すれば共日から糸層様のものや細いゴミの様なもの

め始で本日

外省衛生試験所

受頭至便の地であります

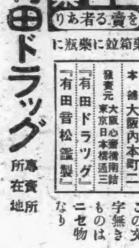
常經穩電車停留所前

清 合 藥 合 藥 円円 郷工業製グツラド田有





本でではすのみならず病毒は子孫に遺傳し一家を破滅する所属等であらゆる治療をなすも効なき患者は一度病療療所に二朔三朔の重症にも服用直に効果順ると、対路で置けば一身の重症にも服用直に効果順る るに変るのである 緒大阪內本町二



發賣元 東京日本橋通三

なこも字この無りももなって



野滿総代理店

餘 姓 進

商

旉

弁醫院

大連紀伊町二七

電路六〇五〇五〇五

小児科

國際運輸株式會社 電話三二五二書

離水三二一散効實 堂 然 天 岡 師 ★ニセヨー京東書便下海明和首京和

高砂工業

通信用トシテ最モ高評ナ

教育玩具、文房具 日駒車電車御符合せ中に御立寄り下さい 每日舍 気話ハハ三ハ番

西大三商會

大雞市磐城町100 大 丸 洋 行

近頃市中に本品の類似不良品を販賣して居りますから御買求めの節は小太丸粉末石鹼と御糧命を御願ひ致します。最寄の動店、百貨店、化粧品店、食料離費寄の動店、百貨店、化粧品店、食料離費の動物がある。 御奥様方に御注意

全 島谷汽船域出

中文時間與「壓山丸」 七月世日 中文時間與「壓山丸」 七月世日 大阪商船 大 連 支 店 株成會社 大 連 支 店 能以出朝

大連出疆的

天津泡溯封 午前十一時一

市山縣近七五七四番 ① 大連汽船

取 叛 店 丸 二一

日本致輸組大陸出

大阪商船戲大連支店

●歐洲江 | 上海、香

出帆

簡東九 七月廿二日

文 八月十八日

社交も 尖端 ユニオンビー t 高の .50 ル 最新の味 さわやかなかほり さわやかなかほり 言ひ得ねらま味 ミン矢サイダー 金線サイダー 製造元 日本麥酒號 (1)

歌師を取り壁んだ人態は突易に 平昌はキリット屋の噛みしめた

ひたすらに接子の冷たい臓を剥きに何んの心養りも感ぜず……たな

無料技治療として開放する。

かつた、一人

が、またしても其のカマ首をも つた、一人人々をジロノート跳 では、一人人々をジロノート跳

れ、二宮三宮低い壁でぶつぶつとれ、二宮三宮低い壁でぶつぶつと

つたの

町水舟 嵌木 ●高グツラド田有

を すは、 此の 那米を 僧えしげに かなな 歌き いきへ 関れて ある。 地なくなつて行く自分の機関を判したくなって行く自分の機関を判した。

殺したのだ!